

河北町地域公共交通計画

令和8年3月策定

山形県 河北町

目次

第1章 (計画の概要)	
1-1	計画策定の趣旨..... 1
1-2	計画期間及び計画の対象地域..... 1
第2章 (現状と課題)	
2-1	町営バス..... 2
2-2	タクシー利用助成制度 (べにのすけタクシー)..... 5
2-3	路線バス (山交バス)..... 7
2-4	乗用タクシー (葉山タクシー)..... 8
2-5	町内に乗り入れている他市町バス..... 10
2-6	町内の交通資源 (通学・通園その他施設送迎、福祉有償運送等)..... 10
2-7	おでかけカルテ・アンケート..... 11
2-8	住民懇談会..... 14
2-9	第8次河北町総合計画後期基本計画 (まちづくりアンケート)..... 18
2-10	課題のまとめ..... 19
第3章 (基本方針)	
3-1	基本理念..... 20
3-2	基本方針..... 20
3-3	地域公共交通ネットワークの形成..... 21
3-4	本計画の位置づけ..... 22
3-5	5年間の取り組み方針..... 22
3-6	河北町モビリティトライアル..... 23
3-7	目標..... 24
第4章 (目標を達成するために行う施策)	
4-1	取り組み方針1 (施策1、施策2、施策3)..... 35
4-2	取り組み方針2 (施策4、施策5)..... 37
4-3	取り組み方針3 (施策6、施策7、施策8、施策9)..... 38
4-4	施策ごとの実施スケジュール..... 41
第5章 (計画の推進 (進行管理・評価・見直し))	
5-1	実行体制..... 42
5-2	進行管理・評価・見直し..... 43

第1章 計画の概要

1-1 計画策定の趣旨

日常生活の多くは「移動」を行うことで成り立っており、必要な移動が徒歩圏内で完結するとは限らず、誰もが「自動車」を利用できるわけでもなく、自動車を利用出来ない人でも移動できるようにすることを目的に地域公共交通の確保・維持・改善を図っています。

地域公共交通を取り巻く状況は厳しく、地域公共交通に関する課題へ計画的・継続的に対処をしていかないと「交通サービスの縮小・撤退」により「地域全体の利便性・魅力の低下」となってしまいます。場当たりの対応ではなく、計画性を持った対応をするためにも国土交通省では地域公共交通計画の策定が推奨されています。地域公共交通計画とは、「地域にとって望ましい地域旅客運送サービスの姿」を明らかにする「マスタープラン」としての役割を果たすものです。

河北町における公共交通の現状は、鉄道が通っておらず、町営バス（町が運営しているバス）、路線バス（山交バス）、乗用タクシー（葉山タクシー等）が地域の交通を支えており、公共交通の運行の維持に努めているところです。しかし、少子化や人口減少、働き方改革などの社会環境の変化により、公共交通の利用者数減少、運転手不足による運行体制維持の困難といった課題が顕在化してきています。こうした課題に対応するため、公共交通の利便性向上や改善・再構築が必要であることは言うまでもありません。

加えて、交通弱者の生活基盤の確保、医療・教育環境の改善、定住促進のための環境整備、観光振興といった町のあらゆる施策にとっても公共交通が果たす役割は大きく、公共交通の維持、確保は極めて重要です。特に令和13年度の統合小学校及び西村山新病院の整備に向けて検討が進められており、町内の教育・医療環境が今後大きく変化する中、町民の移動ニーズに対応できる移動手段が必要です。町民だけでなく、町外から訪れる滞在型観光客の町内周遊の移動手段として、町内の観光資源や施設間の移動を円滑にすることも必要です。

人口減少に伴い公共交通を担う人的資源も限られる厳しい状況ですが、町民一人一人がいきいきとした生活を送れるよう、学生、高齢者等の地域のニーズに応え、地域振興を支える、今後の環境の変化を見据えた公共交通を構築していく必要があります。

これらの背景を踏まえ、将来的にも持続可能で誰もが利用しやすい公共交通を構築することを目指すため、「河北町地域公共交通計画」を策定します。

1-2 計画期間及び計画の対象地域

計画期間	令和8年度～令和12年度（5年間）
対象地域	<ul style="list-style-type: none">● 河北町内全域（西里、溝延、北谷地、谷地西部、谷地中央、谷地東部線沿線地区）● 東根市の一部（JRさくらんぼ東根駅及びおいしい山形空港）● 寒河江市の一部（JR寒河江駅）

第2章 現状と課題

2-1 町営バス

○課題

- ・平日の夕方以降、土日祝日はほとんどの路線が運行しておらず、気軽に利用可能な移動手段がない。
- ・朝1便目は通学利用を想定した早い運行時刻にしているが、学生の利用者数が少ない路線がある。
- ・利用者数が1便あたり1人未満の路線や、1人あたりの輸送コストが膨大な額の路線がある。

○運行状況

町営バスは、町内路線として4路線（東部線、西部線、南部線、北部線）とさくらんぼ東根駅とを結ぶ東根線の合計5路線を運行しています。

令和4年度はタクシー利用助成制度（以下、べにのすけタクシー）の試行に合わせて、町内の4路線（東部線、西部線、南部線、北部線）を3か月間、一部減便しました。また、令和5年度からべにのすけタクシーの通年実施に合わせて、町内の4路線（東部線、西部線、南部線、北部線）を一部減便しています。

平日の夕方や夜間、土日祝日は東根線を除く路線は運行しておらず、特に町内移動において気軽に利用できる移動手段がありません。

表1 路線別の運行状況

路線名	区間	運行便数 (平日)	夕方運行便数 (平日)	運行便数 (土日祝日)	夕方運行便数 (土日祝日)
北部線	北谷地方面 ⇄役場	4	(0)	0	(0)
西部線	西里方面 ⇄役場	3	(0)	0	(0)
南部線	溝延方面 ⇄役場	2	(0)	0	(0)
東部線	荒小屋方面 ⇄役場	2	(0)	0	(0)
東根線	さくらんぼ東根駅 ⇄役場	6	(2)	3	(1)

※午後5時以降の便を夕方運行便としてカウントし、夕方運行便数は内数のためかっこ書きで表記。

○利用状況

町営バスの利用者数はコロナ禍の影響で大きく減少し、コロナ禍前の水準には戻っていません。近年は微増で推移しています。

路線別では、利用者の約7割が東根線であり、東部線の利用者数の減少が著しい状況です。

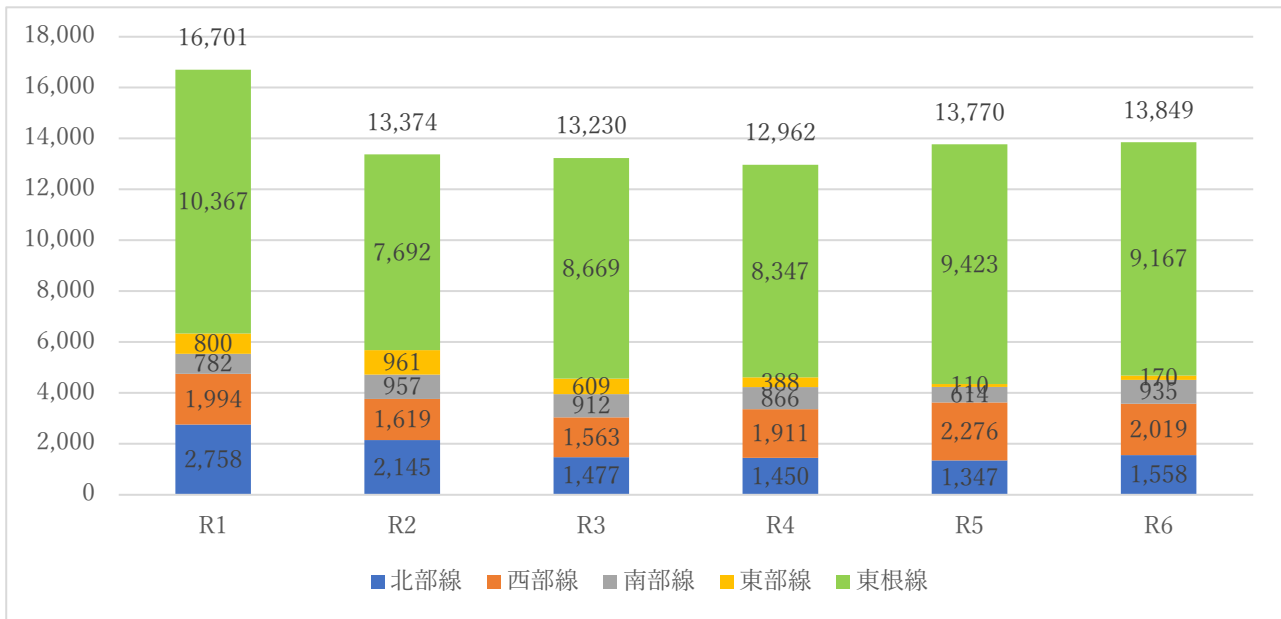


図1 路線別の利用者数（単位：人）

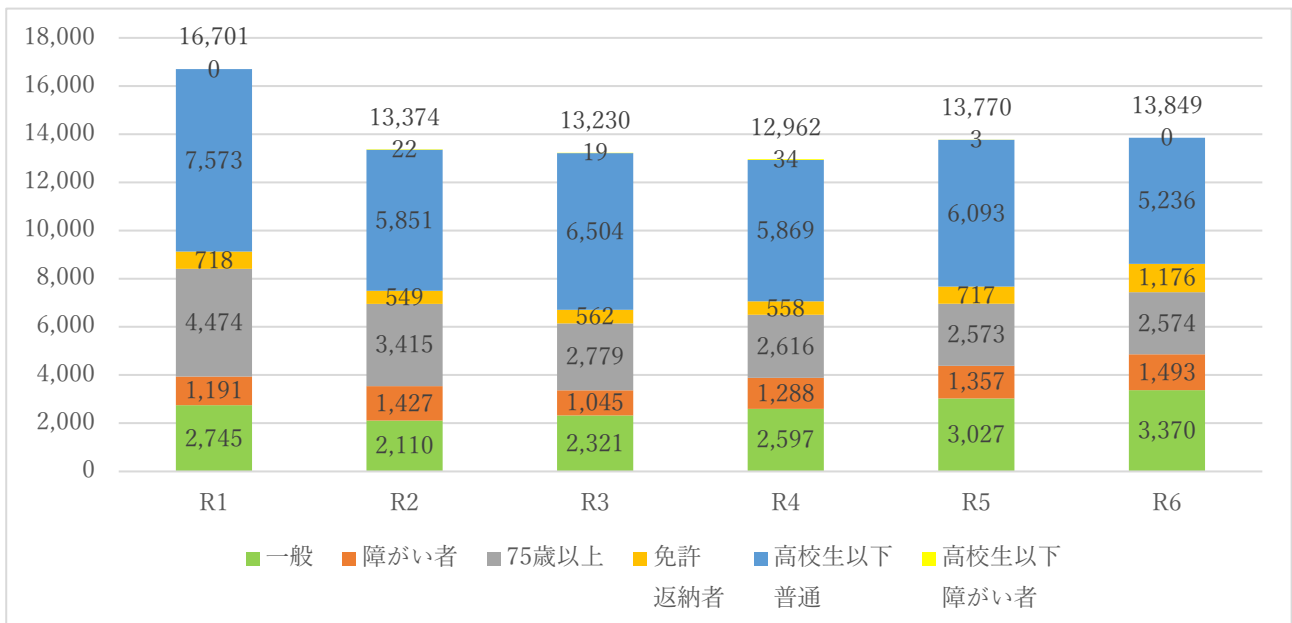


図2 利用者区別の利用者数（単位：人）

1便あたりの利用者数で見ると、1便あたり1人未満の路線があります。また、5路線の1便目は通学手段を想定した運行時刻に設定していますが、町内路線の4路線（東部線、西部線、南部線、北部線）の学生の利用者数が少ない状況です。

○輸送コスト

路線の利用者1人あたりの輸送コストを見ると、河北町の外周部から反対側までをタクシーで移動した場合にかかる金額2,500円を大幅に上回っている路線があります。

(仮に河北町の端から端まで移動した場合3,000円程度になりますが、現在の利用実態を踏まえて、最高金額を2,500円とします。)

表2 路線ごとの利用者1人あたりの輸送コスト(単位:円)

路線 年度	北部線	西部線	南部線	東部線	東根線	合計
R1	1,574	1,470	2,210	1,198	843	1,119
R2	2,084	1,865	1,861	1,027	1,170	1,440
R3	3,115	1,988	2,009	1,668	1,069	1,498
R4	2,928	1,501	1,953	2,416	1,024	1,411
R5	2,944	1,177	2,572	7,958	847	1,241
R6	3,126	1,629	2,074	6,324	1,070	1,515

※2,500円を超えた場合に赤字で表記しています。

2-2 タクシー利用助成制度（べにのすけタクシー）

○課題

- ・ 地区によって利用に偏りがあり、制度の周知が十分にできていない可能性がある。
- ・ 対象日が平日のみのため、土日祝日に利用できない。

○利用状況及び輸送コスト

高齢者や障がい者からの交通の利便性向上への要望に答える形で、べにのすけタクシーを導入しました。事前に利用者登録を行った、65歳以上又は障がい者手帳等の所持者の平日の町内でのタクシー利用について、片道500円の個人負担となるよう利用助成を実施しています。

べにのすけタクシーは令和4年度の実証運行を経て、令和5年度から通年で実施しており、利用件数は増加しています。また、1人あたりの輸送コストは1,100円程度となっています。

また、べにのすけタクシーを休日にも利用したいという声があります。

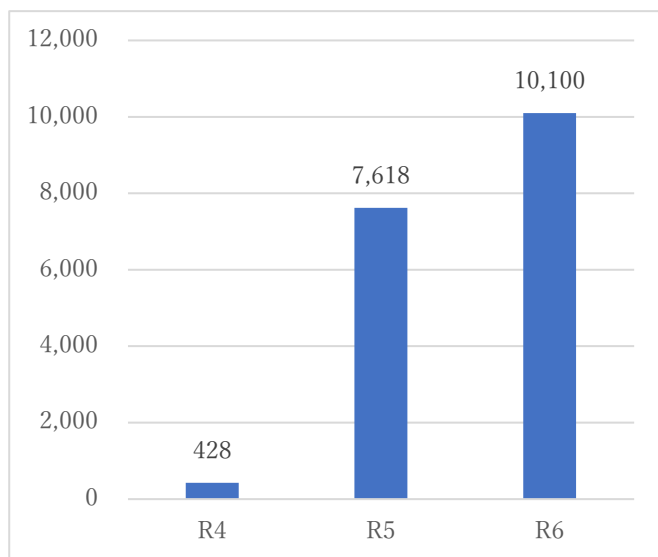


図3 べにのすけタクシーの利用者数（単位：件）

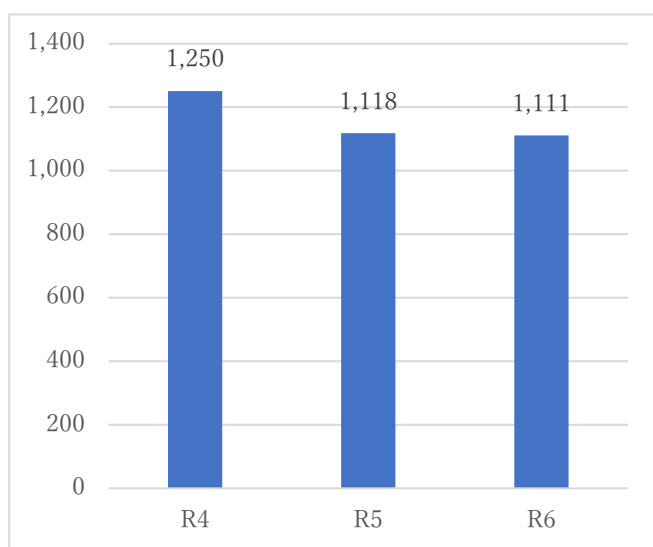


図4 べにのすけタクシーの利用者1人あたりの輸送コスト（単位：円）

○地区ごとの申し込み人数及び利用件数

65歳以上の人口割合と申し込み人数・利用件数を比較すると、谷地地区と溝延地区の申し込み・利用が比較的多く、東部線沿線地区の申し込み・利用が少ない状況です。

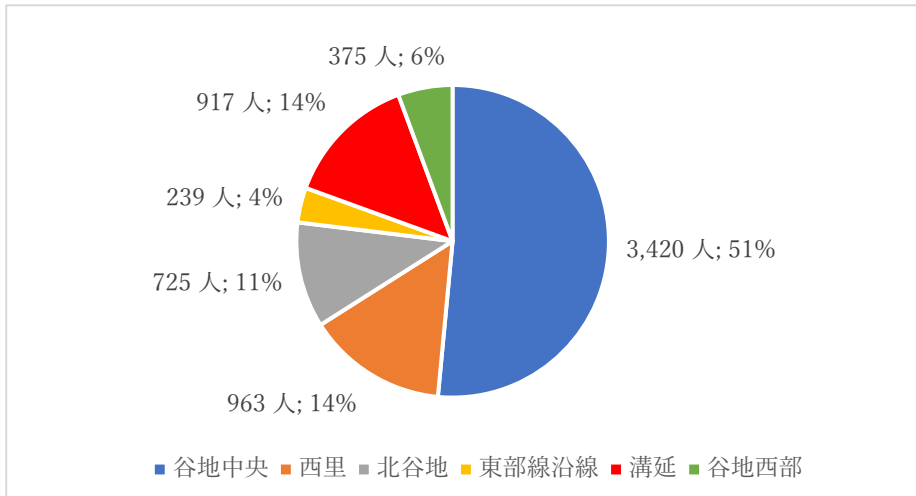


図5 令和7年10月1日時点の地区ごとの65歳以上人口と割合（単位：人、%）

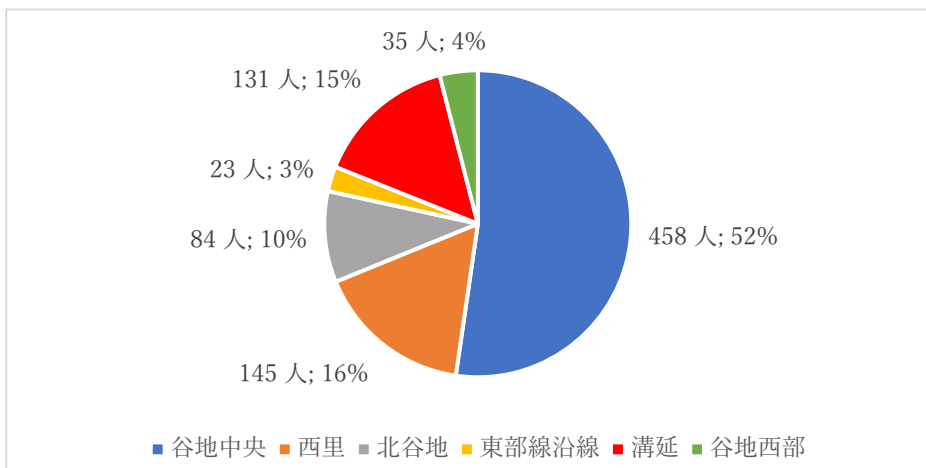


図6 令和6年度の申し込み人数と割合（単位：人、%）

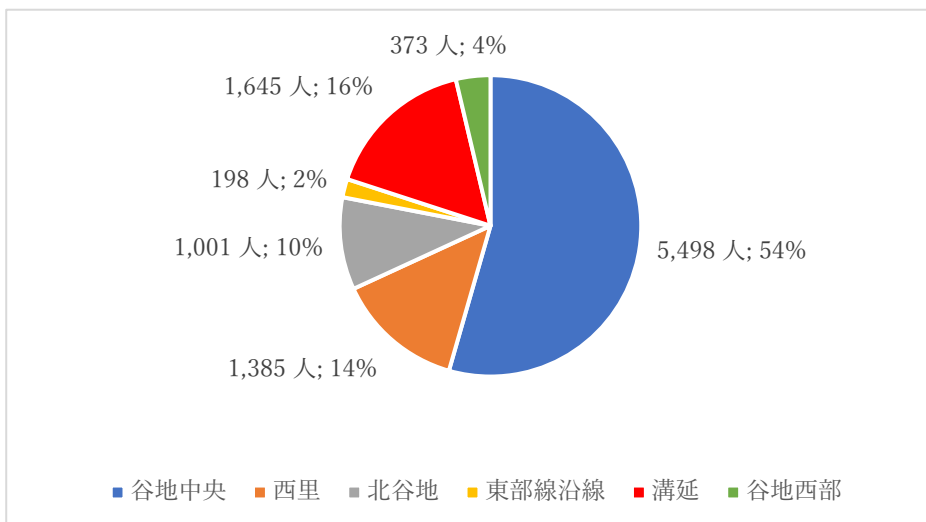


図7 令和6年度の利用件数と割合（単位：件、%）

2-3 路線バス（山交バス）

○課題

- ・土日祝日の運行が取りやめとなり、休日の寒河江方面への移動手段がなくなった。
- ・路線維持のためには、利用者数全体の底上げを図る必要がある。特に町内区間（河北病院バス停～谷地所岡バス停）の利用者数が少ない状況にある。

○利用状況

路線バスとしては、山交バスが「寒河江駅前→河北病院」は11便、「河北病院→寒河江駅前」は12便の『寒河江駅前⇄河北病院』線を運行しています。令和5年4月1日から日曜日と祝日の便及び20時以降の便が運休となり、令和6年4月1日から土曜日の便が運休となったため、運行は平日のみとなっています。

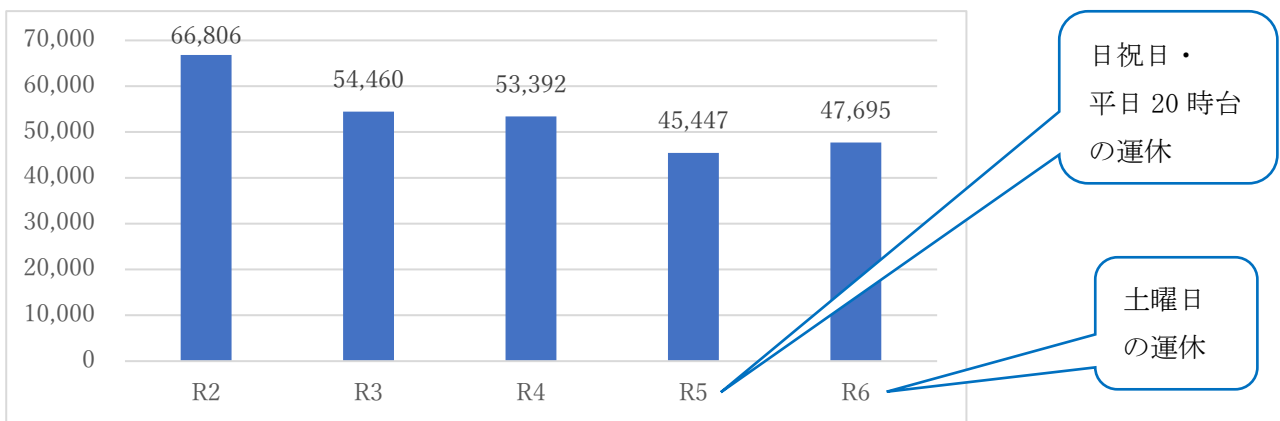


図8 山交バス「寒河江駅前⇄河北病院線」の利用者数（単位：人）

※前年10月から当年9月までの1年間での集計。（例：R6はR5.10～R6.9）

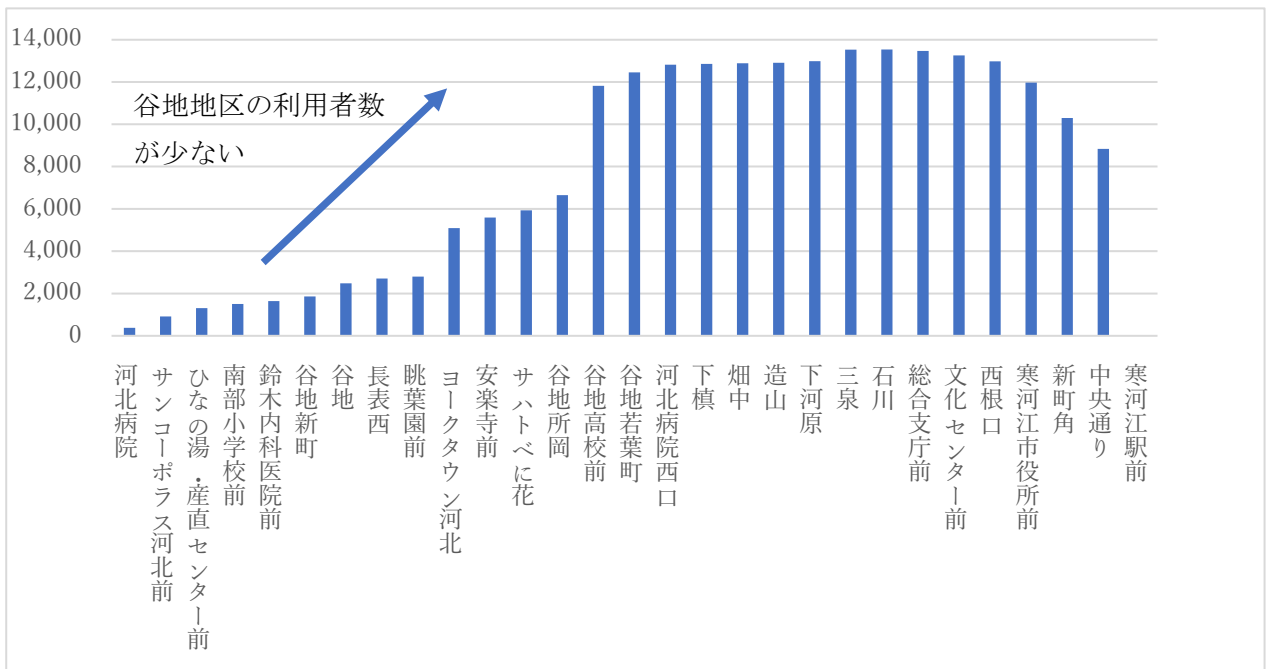


図9 山交バスの利用状況（河北病院⇄寒河江駅前）

※当該バス停から次バス停までの通過人員（令和5年4月1日～令和6年3月31日）（単位：人）

山交バス寒河江谷地線の利用者数（乗降客数）データより

2-4 乗用タクシー（葉山タクシー）

○課題

- ・平日朝の通院や買い物等の移動ニーズが集中する時間帯にタクシーの予約が取りにくい。
- ・タクシーや町営バスの運転を担う運転手が不足している。

○事業者の状況

町内のタクシーは法人の事業者が1社（株式会社 葉山タクシー）です。

表3 葉山タクシーの概要

従業員数	20名（事務員5名、運転手15名） ※非正規雇用及び役員3名を含む
登録車両	16台（小型12台、中型4台）
営業区域	西村山地区（河北町、寒河江市、西川町、朝日町、大江町） 村山市、天童市（中心部）、東根市、尾花沢市、大石田町

タクシーの利用者はコロナ禍に大きく減少し、回復の兆しが見えてきた状況にあり、令和6年度時点で、運行回数が約22,000件、輸送人員が約33,000名となっています。

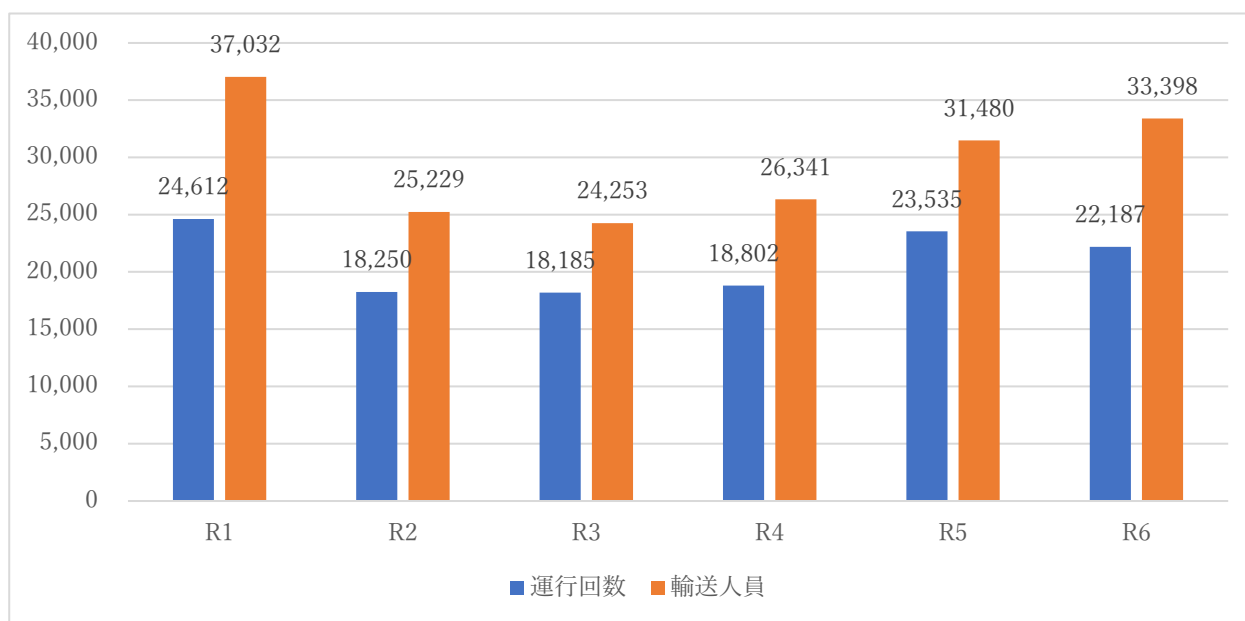


図10 町内タクシー事業者の運行回数と輸送人員数（単位：回、人）

○稼働状況

特に平日朝の通院や買い物等、町民の移動ニーズが集中する時間帯に、出勤している従業員が総出で町の受託事業（主に通学）に対応しているため、タクシーを呼んでも来ない事態が生じています。土日祝日に関しても、現状の従業員数ではタクシーだけでなく町営バスの路線や便数を増やすことが困難な状況です。

全国的に公共交通の運転手不足が課題となっていますが、河北町においても運転手不足が起こっている状況です。

町内タクシー事業者の運転手タイムスケジュール（イメージ）平日

時間	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	
役員	①			常勤（役員業務）、③、④、⑤														
役員	①			常勤（役員業務）、③、④、⑤														
運転手 1	②			④、⑤			③					⑤						
運転手 2	②			④、⑤			③	②			④、⑤		⑤					
運転手 3	②			④、⑤				①				④、⑤						
運転手 4	②			④、⑤				①				④、⑤						
運転手 5	②			④、⑤														
運転手 6	③																	
運転手 7	③																	
運転手 8	③																	

①スクールバス、②支援学校タクシー、③路線バス、④べにのすけタクシー、⑤タクシー

町内タクシー事業者の運転手タイムスケジュール（イメージ）土日祝日

時間	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
運転手 1	⑤																
運転手 2	⑤																
運転手 3	⑤																
運転手 4	③																

①スクールバス、②支援学校タクシー、③路線バス、④べにのすけタクシー、⑤タクシー

2-5 町内に乗り入れている他市町バス

河北町に乗り入れている他市町バスとしては以下の通りです。河北町民も利用できます。

表 4 河北町に乗り入れている他市町バス

他市町バス	区間
東根市市民バス	さくらんぼ東根駅⇄谷地中央地区（河北病院、どんがホール等）
村山市市営バス	富並地区⇄谷地中央地区（河北病院、どんがホール等）
西川町路線バス	道の駅にしかわ⇄谷地中央地区（河北病院、谷地高校前等）

2-6 町内の交通資源（通学・通園その他施設送迎、福祉有償運送等）

河北町内の交通資源は以下の通りです。

表 5 河北町内の交通資源

交通資源	区間・区域
送迎バス（幼稚園・保育所）	乳児・幼児の自宅⇄幼稚園・保育所
スクールバス（小学校）	児童の自宅付近の乗降場所⇄小学校
シャトルバス（イオンモール天童）	どんがホール⇄イオンモール天童
福祉有償運送	利用者の自宅⇄通院・通所先等
介護タクシー	利用者の自宅⇄目的地
空港ライナー	町内の運行エリア⇄おいしい山形空港
送迎バス（宿泊施設）	宿泊施設⇄JR さくらんぼ東根駅、温泉施設「ひなの湯」

2-7 おでかけカルテ・アンケート

○課題

- ・子供の通学送迎に対する負担感がある。
- ・平日の夜間や休日に、河北町と寒河江市を結ぶ新たな移動サービスのニーズがある。

2-7-1 地域公共交通再構築にあたって実施した「おでかけカルテ」

令和6年度に実施した地域公共交通再構築における、おでかけカルテの実施結果から、地区住民の日常的な通院や買い物のほとんど（多く）が町内で行われていることが分かりました。（詳細は資料編を参照）

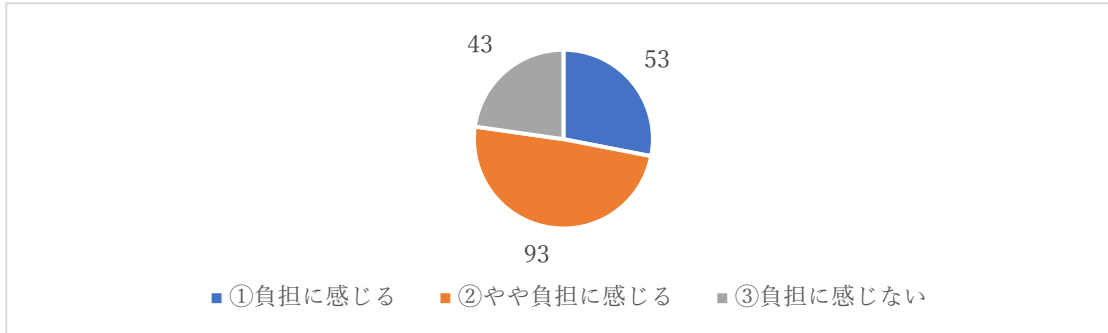
○各小学校区ごとの回答上位5つの中で、全ての小学校区に回答があった移動先（目的地）

買い物	通院	楽しみ
ヤマザワ	河北病院	友人の家
ヨークベニマル	町内開業医（整形）	散歩
クスリのアオキ	町内開業医（眼科）	

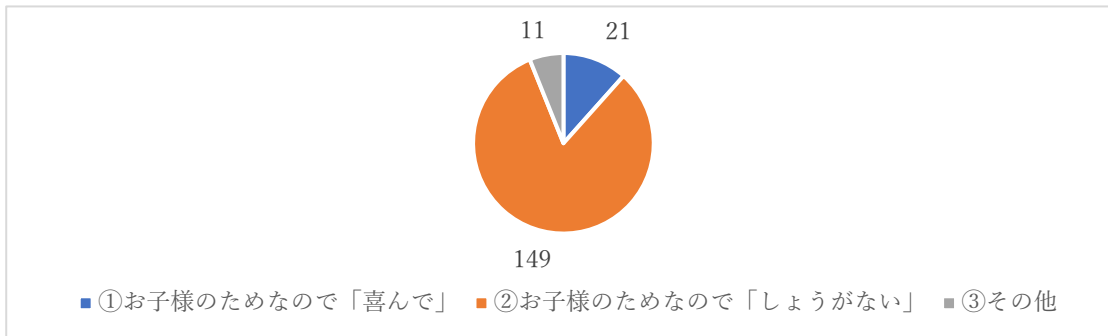
2-7-2 地域公共交通再構築にあたって実施した「中学生・高校生保護者アンケート」

令和6年度に実施した中学生・高校生保護者アンケートの実施結果から、中学生と高校生の保護者からは、送迎に対する負担感があるという回答を得ています。

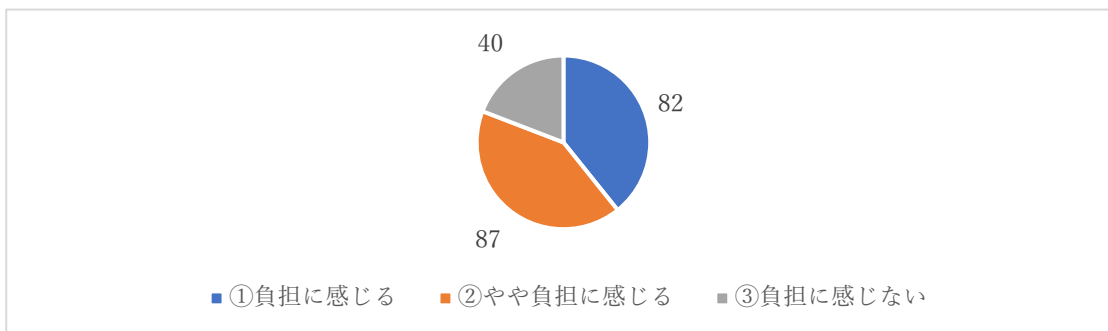
【問】 お子様の通学の送迎に対するご家庭での負担感（中学生の保護者へ）（単位：件）



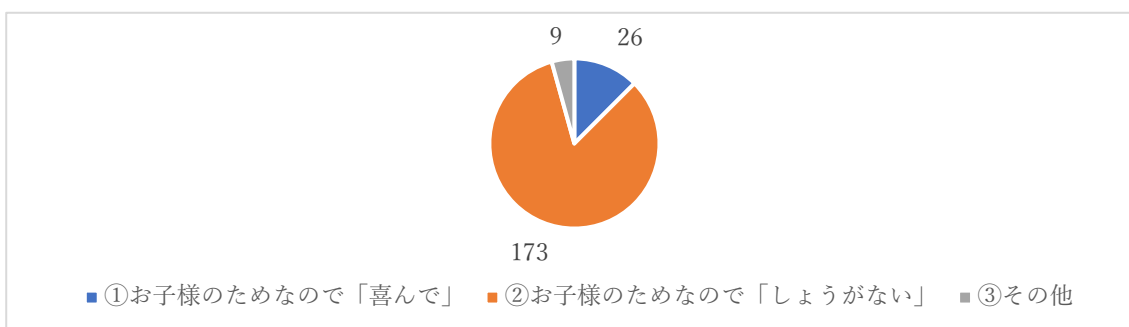
【問】 お子様の通学の送迎に対するご家庭での感想（中学生の保護者へ）（単位：件）



【問】 お子様の通学の送迎に対するご家庭での負担感（高校生の保護者へ）（単位：件）

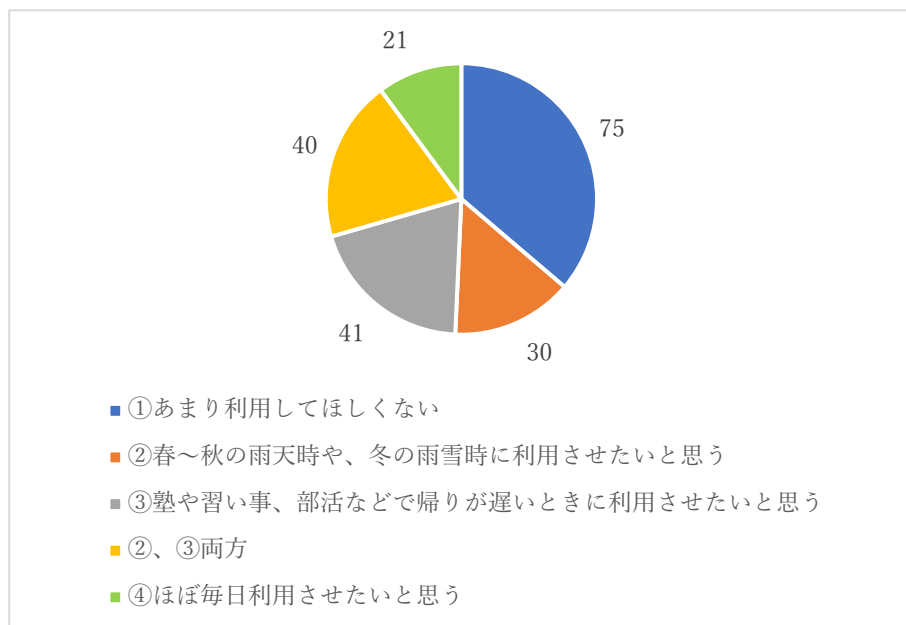


【問】 お子様の通学の送迎に対するご家庭での感想（高校生の保護者へ）（単位：件）

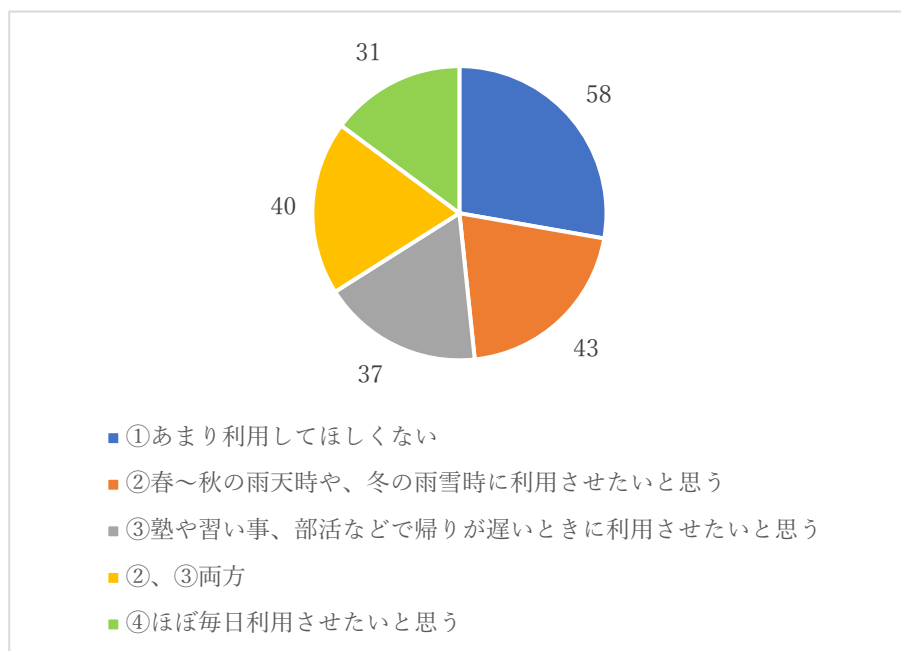


令和6年度に実施した中学生・高校生保護者アンケートの実施結果から、高校生の保護者からは、河北町・寒河江市間の新たな移動サービスへのニーズがあるという回答を得ています。

【問】 平日の20時以降に寒河江市から河北町まで利用できる新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいのか（単位：件）



【問】 土日祝日に寒河江市と河北町の間を結ぶ新たな移動サービスを走らせることにした場合、お子様に利用してもらいたいのか（単位：件）



2-8 住民懇談会

各地域の地理的特性や現在運行している町営バスの路線網等を踏まえ、総合的に判断して町内を6地区に分け、各地区ごとに区長や民生委員・児童委員等から選出した約10人の地区代表者と住民懇談会を令和7年8月・9月・12月の3回行いました。

各地区の概況と意見は次のとおりです。

○西里地区

町内での位置関係	河北町の南西部に位置し、寒河江市に隣接
地形	西里地区の北側に山があり、その他は平坦部
住宅の分布の仕方	比較的に道路に沿って住宅や集落が分布
現状の町営バスの走り方	住宅や集落を道路に沿う形で西部線を運行
交通結節点に想定される施設	西里農村環境改善センター

○溝延地区

町内での位置関係	河北町の南部に位置し、寒河江市に隣接
地形	溝延地区全体が平坦部
住宅の分布の仕方	面的に住宅や集落が一定の密度で分布
現状の町営バスの走り方	面的に分布している住宅や集落の内部を走る形で南部線を運行
交通結節点に想定される施設	溝延研修センター

○北谷地地区

町内での位置関係	河北町の北部に位置し、村山市に隣接
地形	北谷地地区の北西側に山があり、北側から南側に下がっている。 (全体的に傾斜がある。)
住宅の分布の仕方	比較的に道路に沿って住宅や集落が分布
現状の町営バスの走り方	住宅や集落を道路に沿う形で北部線を運行
交通結節点に想定される施設	北谷地構造改善センター

○谷地西部地区

町内での位置関係	河北町の北西部に位置している。
地形	地区全体が山際にある。
住宅の分布の仕方	比較的に道路に沿って住宅や集落が分布
現状の町営バスの走り方	住宅や集落を道路に沿う形で西部線と北部線を運行
交通結節点に想定される施設	紅花資料館

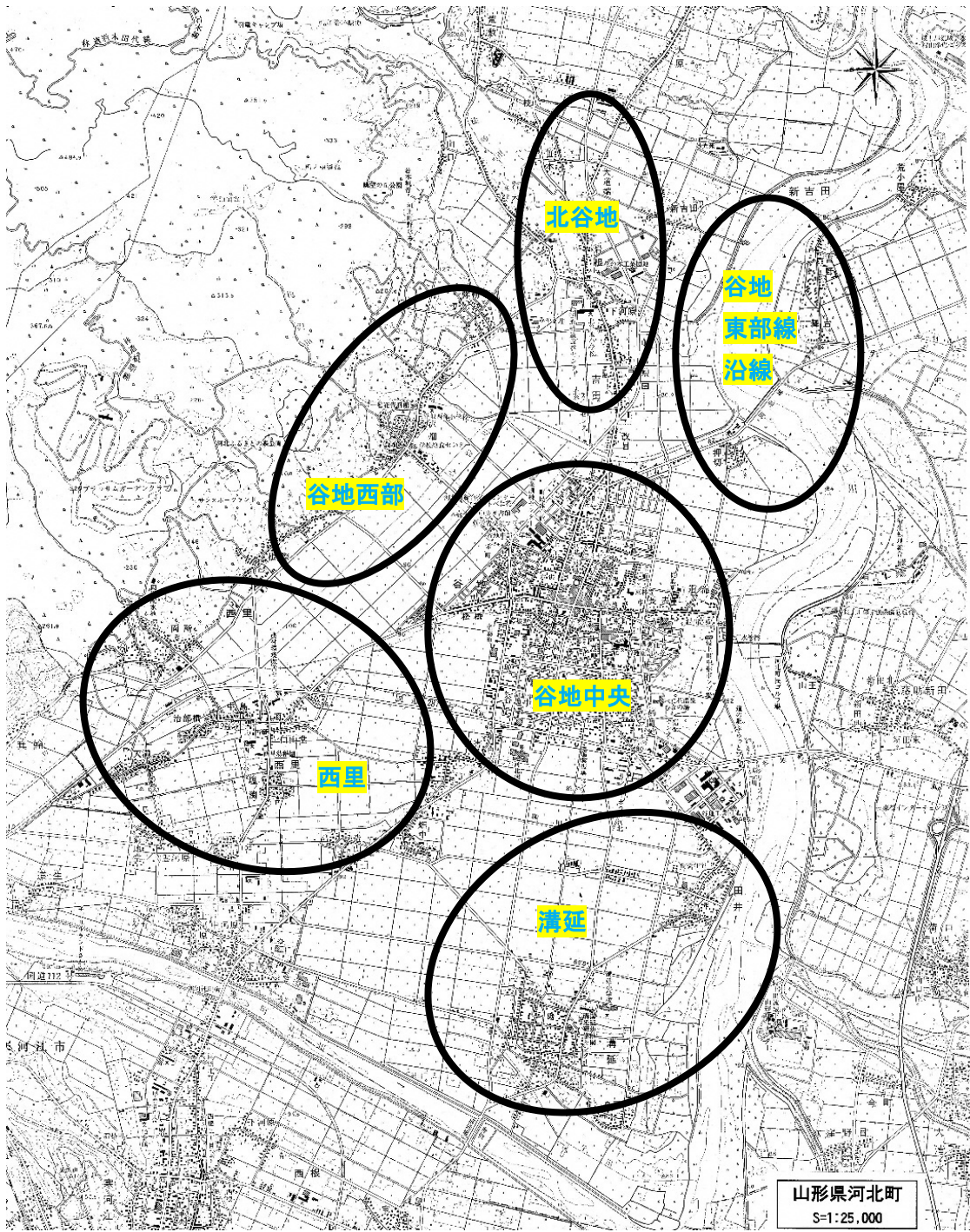
○谷地東部線沿線地区

町内での位置関係	河北町の北東部に位置し、東根市に隣接
地形	そばを最上川が流れており、堤防の脇の平坦部
住宅の分布の仕方	比較的に道路に沿って住宅や集落が分布
現状の町営バスの走り方	住宅や集落を道路に沿う形で東部線を運行
交通結節点に想定される施設	吉野公民館

○谷地中央地区

町内での位置関係	河北町の中央部に位置している。
地形	地区全体が平坦部
住宅の分布の仕方	面的に住宅や集落が一定の密度で分布
現状の町営バスの走り方	町営バス全便（西部線・南部線・北部線・東部線・東根線）の始点・終点となっている。
交通結節点に想定される施設	どんがホール
その他特記事項	山交バスの停留所もあり、交通結節点になっている。 中学校・高校があり、医療機関、商業施設、金融機関、公共施設なども他の地区と比べると多く、周辺地区（西里、溝延、北谷地、谷地西部、谷地東部線沿線地の5地区）の日常的な目的地となっている。

○6 地区の位置図



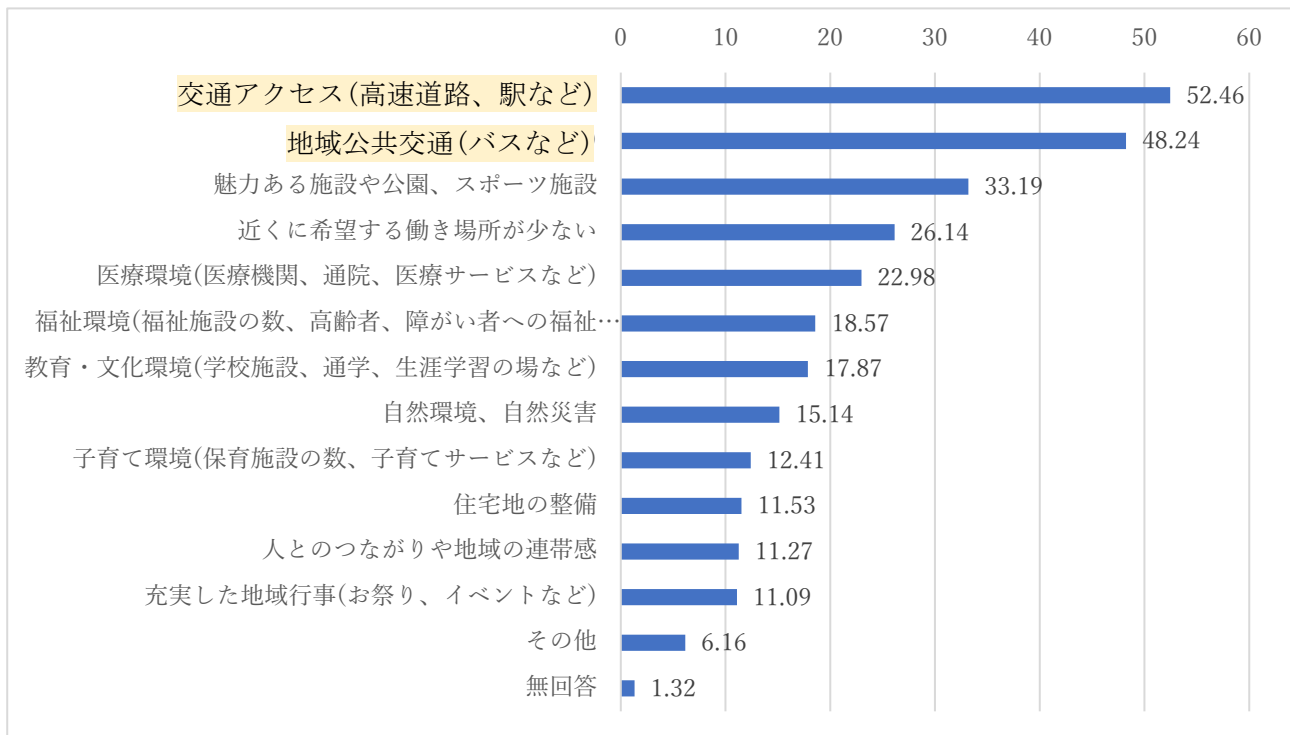
○地区ごとの意見

地区	意見
西里地区	<ul style="list-style-type: none"> ・寒河江市が近いにも関わらず、谷地中央地区を経由しなければならないため、公共交通の利便性があまり良くないと感じる。(谷地を経由せずに直接行き来したい。) ・高齢者のアプリ利用のハードルは高いが、これからは積極的に利用するような取り組みが必要ではないか。 ・バス停が遠い。(冬期間は圧雪で危険なため、特に困難)
溝延地区	<ul style="list-style-type: none"> ・寒河江市が近いにも関わらず、谷地中央地区を経由しなければならないため、公共交通の利便性があまり良くないと感じる。(谷地を経由せずに直接行き来したい。) ・溝延地区⇄谷地中央地区の移動が困難。 ・公共交通の不便さが町外転出の原因という話を聞いた。
北谷地地区	<ul style="list-style-type: none"> ・公共ライドシェアへの取り組みを始めてみてはどうか。(地域内での助け合いの雰囲気がある。) ・高齢者のアプリ利用のハードルは高いが、これからは積極的に利用するような取り組みが必要ではないか。
谷地西部地区	<ul style="list-style-type: none"> ・親族が助け合うことで何とかなっているが、今後、交通弱者が増えた場合の対応をどうすればよいのか。
谷地東部線沿線地区	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスと町営バスがほぼ重複している時間帯があるので、見直してはどうか。 ・町営バスの利用者数が少ない。
谷地中央地区	<ul style="list-style-type: none"> ・独居老人が多くなっている。 ・バス停留所が遠い。
全地区共通	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と病院の統廃合への対応 ・開業医の高齢化に伴う開業医減少への心配 ・べにのすけタクシーの更なる周知 ・土日祝日の移動ニーズへの対応 ・町営バスの利用者数が少ない。 ・アプリ（予約システム）の操作が難しいため、導入しても利用までのハードルが高い。 ・まだ運転出来るため、当事者意識や危機感をあまり実感できない。

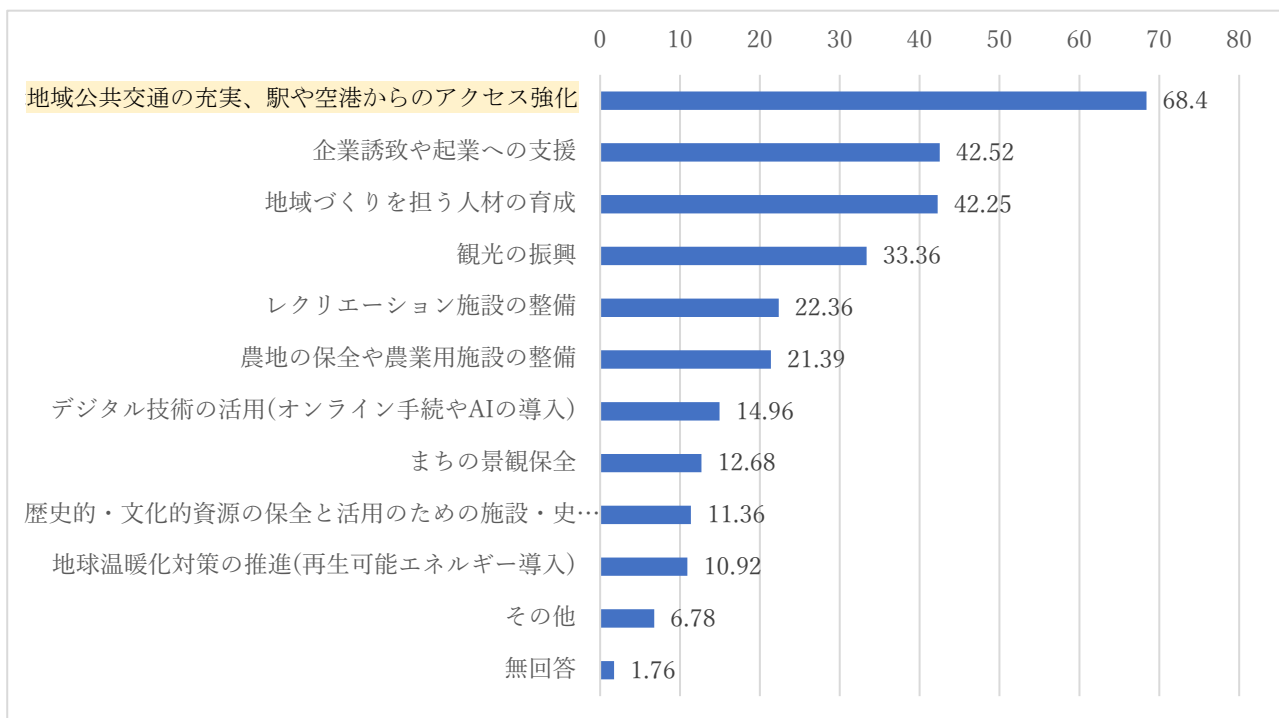
2-9 第8次河北町総合計画後期基本計画（まちづくりアンケート）

第8次河北町総合計画後期基本計画を策定するにあたり、令和6年12月に、16歳以上の町民2,000名を対象に意識調査を実施したところ、「問13. 河北町の改善点」と「問14. 河北町に必要な何か」で交通に関する回答が多数あげられました。

問13. 河北町の改善してほしい点は、次のうちどれですか。（3つ選ぶ）（単位：％）



問14. あなたは、今後の河北町に何が必要だと思いますか。（3つ選ぶ）（単位：％）



2-10 課題のまとめ

第2章の2-1から2-9までに挙げた河北町の公共交通の現状等から見えてきた課題を次のようにまとめます。

	課題・意見
町営バス	<ul style="list-style-type: none"> ・平日の夕方以降、土日祝日はほとんどの路線が運行しておらず、気軽に利用可能な移動手段がない。 ・朝1便目は通学利用を想定した早い運行時刻にしているが、学生の利用者数が少ない路線がある。 ・利用者数が1便あたり1人未満の路線や、1人あたりの輸送コストが膨大な額の路線がある。
タクシー利用助成制度 (べにのすけタクシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・地区によって利用に偏りがあり、制度の周知が十分にできていない可能性がある。 ・対象日が平日のみのため、土日祝日に利用できない。
路線バス (山交バス)	<ul style="list-style-type: none"> ・土日祝日の運行が取りやめとなり、休日の寒河江方面への移動手段がなくなった。 ・路線維持のためには、利用者数全体の底上げを図る必要がある。特に町内区間(河北病院バス停～谷地所岡バス停)の利用者数が少ない状況にある。
乗用タクシー (葉山タクシー)	<ul style="list-style-type: none"> ・平日朝の通院や買い物等の移動ニーズが集中する時間帯にタクシーの予約が取りにくい。 ・タクシーや町営バスの運転を担う運転手が不足している。
お出かけカルテ・アンケート	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の通学送迎に対する負担感がある。 ・平日の夜間や休日に、河北町と寒河江市を結ぶ新たな移動サービスのニーズがある。
住民懇談会	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と病院の統廃合への対応 ・開業医の高齢化に伴う開業医減少への心配 ・まだ運転出来るため、当事者意識や危機感をあまり実感できない。



- 土日祝日の移動手段が限られている。(ほぼ無い。)
- 利用者数が少ない移動手段は、1人あたりの輸送コストが多くなっている。
- 公共交通の制度の周知が不足している。(利用者数が増えない。)
- 運転手が不足している。(必要な移動ニーズを満たせない時間帯がある。)
- 通学送迎に対する負担感を解消する必要がある。
- 河北町と寒河江市を結ぶ新たな移動手段を構築する必要がある。
- 小学校と病院の統廃合や高齢化による開業医の減少への不安もあるが、自家用車を運転可能な人は当事者意識や危機感を持ちにくい状況が続いている。

第3章 基本方針

3-1 基本理念

河北町の地域公共交通とは何かを、基本理念として以下に示します。

町民一人一人のいきいきとした生活を支え、町の魅力を活かす移動手段

3-2 基本方針

基本理念に則り、河北町の地域公共交通が果たす「役割」を以下のとおり基本方針として定め、地域公共交通施策を進めていきます。

基本方針1 通学を支える移動手段

河北町に住む子どもたちが、町内の小学校・中学校、谷地高校に通うことはもとより、河北町に住み続けながら寒河江市・東根市・山形市といった町外の高校、大学・専門学校等にも通うことができるようにします。

加えて、町内唯一の高校である谷地高校が永続的に活力ある教育活動を展開できるよう、河北町外に住む子どもたちが谷地高校に通うことができるようにします。

基本方針2 生活を支える移動手段

地域の積極的な協力・連携のもと、町内中心部の商業施設・医療機関・公共施設へ各地区からのアクセスと町内施設間の行き来ができるようにし、河北町で安心して住み続けられる基盤となります。

加えて、寒河江市へ整備される西村山新病院や東根市の商業施設のほか、鉄道等とも連携しながら山形市内の商業施設や医療機関も含めて、町民が町外施設へアクセスできるようにします。

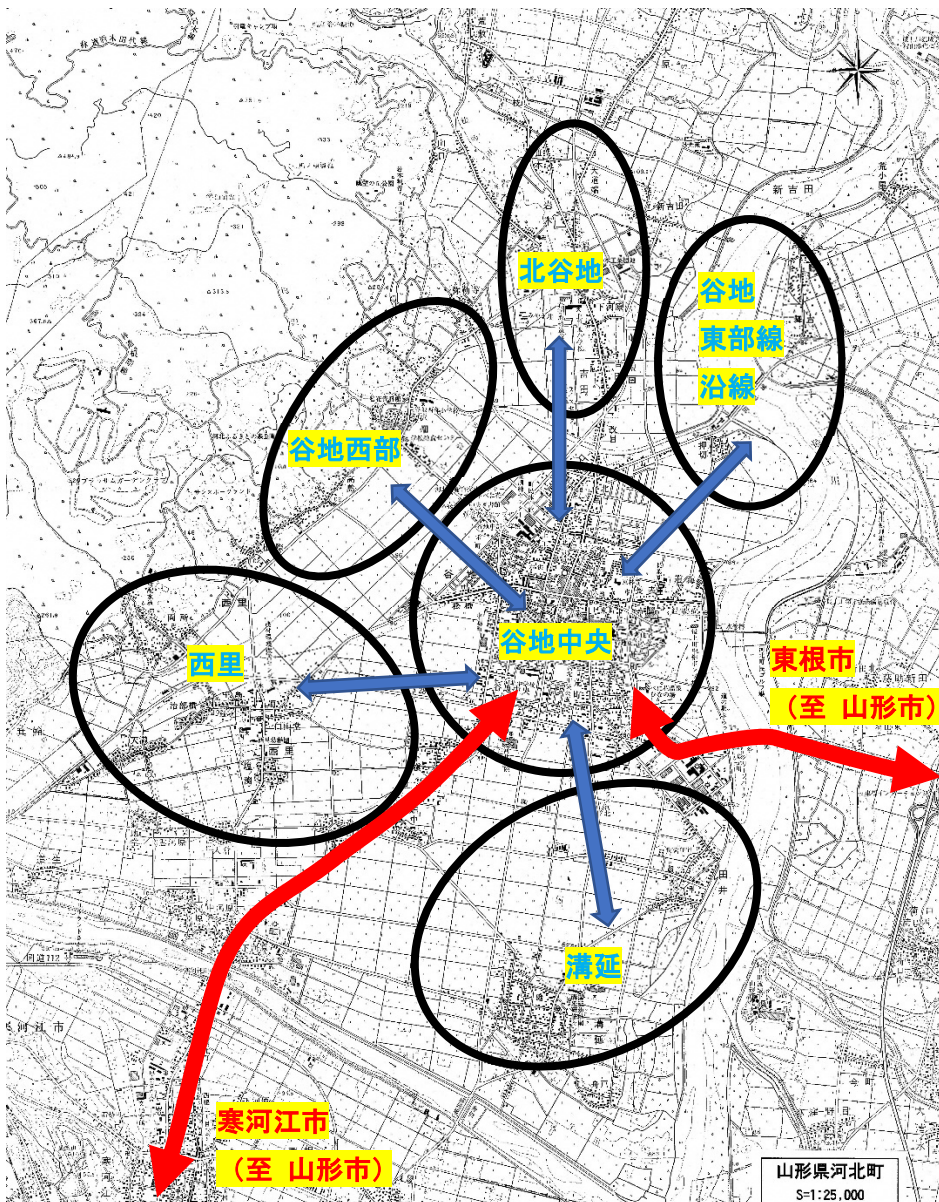
基本方針3 観光を支える移動手段

魅力あふれる河北町の観光振興の基盤となるよう、滞在型観光の拠点・体制整備の中で、観光客が町内観光資源や宿泊施設等の行き来をはじめとする町内周遊をできるようにします。併せて、広域周遊にもつなげられるようにします。

3-3 地域公共交通ネットワークの形成

本計画で定めた基本理念及び基本方針や課題整理の結果を踏まえ、町営バスやタクシー、スクールバスといった固定観念や先入観にとらわれず、地域の特性や時間帯などに合わせて様々な移動手段を組み合わせることで、河北町内外の移動に使いやすい地域公共交通ネットワークを形成していきます。

- 地域間幹線：町が主導で整備しつつ、利用促進をはじめ一部取り組みは地域とも連携・協力して
 - 河北町⇔寒河江市：山交バスと町営バスの組み合わせによる平休日の運行確保
早朝・夜間の運行は地域とも連携・協力が必要
 - 河北町⇔東根市：町営バスと東根市民バスの組み合わせによる平休日の運行確保
早朝・夜間の運行は地域とも連携・協力が必要
- 町内中心部（谷地中央地区）内：町と地域が連携・協力して、様々な移動手段を組み合わせる
- 町内中心部（谷地中央地区）⇔町内周辺各地区：町と地域が連携・協力して、様々な移動手段を組み合わせる



3-4 本計画の位置づけ

本計画で定めた地域公共交通ネットワークの形成の実現には、3つの課題があります。

- 公共交通の担い手（運転手・従業員）が足りないため、本計画で示した地域公共交通ネットワークは現状の体制では実現できない。
- 5年後の統合小学校及び西村山新病院の整備に向けた検討が進められており、町民の移動のしかたが大きく変わることが想定される。
- 地域の積極的な協力・連携が必要であることを町民・関係団体の中で認識共有されておらず、その意識醸成には時間を要する。

以上を踏まえ、河北町の地域公共交通施策における本計画の位置づけを以下のように定めます。

5年後の大きな変化を見据えたプロローグ

本計画は、河北町の地域公共交通の基本理念「町民一人一人のいきいきとした生活を支え、町の魅力を活かす移動手段」を実現するために必要な5年間の準備作業を定めるものとします。

向こう5年間は、現状の体制でできる中で、地域とともに様々な試行錯誤を行いながら、町内6地区にふさわしい地域公共交通を見出していきます。観光客の町内周遊についても、町内観光施設や宿泊施設等の協力・連携のもとで試行錯誤を重ね、観光振興を支える移動手段の実装へとつなげます。

加えて、公共交通の担い手である運転手確保・運行体制強化を行い、5年後の統合小学校及び西村山新病院の整備に伴う移動需要の変化を見据えた準備期間とします。

3-5 5年間の取り組み方針


本計画の位置づけに基づき、計画期間中の5年間の具体的な取り組み方針を以下のとおりに定めます。

- 取り組み方針1 谷地高校生と町内在住高校生の通学手段確保
- 取り組み方針2 通院等の生活を支える移動手段に必要な運転手確保・運行体制強化
- 取り組み方針3 地区毎の生活交通へのニーズと来訪者の二次交通へのニーズに対応できるモビリティトライアル

3-6 河北町モビリティトライアル

町内 6 地区それぞれにふさわしい地域公共交通を見出すにあたり、「河北町モビリティトライアル」により地域とともに行うトライアルの方針を定めます。地域の状況やできる範囲を踏まえながら、町内 6 地区それぞれに合ったステージの取り組みを進めていきます。

観光客の町内周遊を支える移動手段の実装にあたって、「河北町モビリティトライアル」の方針のもとで町内観光施設や宿泊施設等の協力・連携体制構築を図ります。

ステージ	取り組み内容
 4	<p>◎各地区で考えた移動手段を自分たちで運行している。</p> <p>ステージ3に加えて、地区の移動手段の運転も住民自らが担います。</p> <p>ただし、この取り組みは地域にふさわしい地域公共交通を見出すための試行錯誤の一環として位置づけ、実施を本計画期間内までとします（観光客向け移動手段を除く）。</p> <p>本計画期間以降の実施について希望する地区等があれば、地域の負担状況や継続性なども考慮して次期計画策定において協議します。</p> <p>本計画期間中においても含め、ステージ3以下へ移行することも可能です。</p>
3	<p>◎各地区でより良い移動手段を行政等と一緒に考えている。</p> <p>ステージ2に加えて、地域で協議体を組織し、運行時間や経路等のより良い移動手段の具体的な内容を、行政や交通事業者等と一緒に考え、改善したり、新たに運行したりします。</p> <p>ただし、ステージ3では住民による運転までは想定しません。</p>
2	<p>◎各地区で公共交通（バス・ベにのすけタクシー等）の勉強会や乗車体験会を実施している。</p> <p>ステージ1に加えて、町内会や老人会、区長会などの地域の集まりの場などにおいて、乗り方等を学ぶ場を用意したり、実際に利用する機会を設けたりするなど、地域主体で公共交通を「活用する企画」に取り組みます。</p>
1	<p>◎各地区で公共交通（バス・ベにのすけタクシー等）の周知へ協力している。</p> <p>町営バスや「ベにのすけタクシー」等の公共交通があること、その利用方法や登録方法等について、地区住民への周知・宣伝に地域で協力します。</p>
0	<p>◎各地区で特段取り組んでいることはない。</p> <p>地域の協力・連携が何もない状態です。「ベにのすけタクシー」等による最低限度の移動手段は保証されますが、行政や交通事業者だけでできることには限りがあるため、需要が集中する朝に移動できない、制度対象外の住民は利用できない等の制約が伴います。</p>

モビリティトライアル・・・各地区にふさわしい地域公共交通を見出すために、各地区で実施する地域公共交通に関する取り組み（試行錯誤）を表現した造語です。

3-7 目標

本計画で定めた基本理念及び基本方針の実現に向けた目標と成果指標を、5年間の取り組み方針に基づき以下のとおり設定します。

河北町地域公共交通活性化協議会において、毎年、地域公共交通施策の進捗状況とともに目標までの到達状況を確認し、本計画期間の最終年度である令和12年度において目標達成できるように管理します。

なお、目標1及び目標2については、「バスに限らない、新たな移動手段を検討・実証・実装する」ことで目標達成に努めます。

目標1 町内6地区から町内外高校等への「通学しやすさ」の向上（取り組み方針1に対応する目標）

町内6地区の代表地点から提供可能な公共交通機関を利用して町内外高校等へ通学することを想定し、平日・休日それぞれで、往路始発便の高校等最寄り代表地点到着時刻、復路最終便の高校等最寄り代表地点発車時刻、高校等での最大滞在可能時間を指標として設定しました（別表_目標1）。

- 町内6地区の代表地点
 - 西里地区・・・西里地区センター（最寄バス停：白山堂）
 - 溝延地区・・・溝延地区センター
 - 北谷地地区・・・北谷地地区センター（最寄バス停：農協北谷地支所）
 - 谷地西部地区・・・紅花資料館
 - 谷地東部線沿線地区・・・吉野公民館
 - 谷地中央地区・・・どんがホール

- 高校等最寄り代表地点
 - 谷地高校前バス停
 - JR寒河江駅
 - JRさくらんぼ東根駅
 - JR山形駅

目標2 河北町外から谷地高校への「通学しやすさ」の向上（取り組み方針1に対応する目標）

河北町外から提供可能な公共交通機関を利用して谷地高校へ通学することを想定し、平日・休日それぞれで、往路始発便の谷地高校到着時刻、復路最終便の谷地高校発車時刻、谷地高校での最大滞在可能時間を指標として設定しました（別表_目標2）。

- 河北町外の代表地点
 - JR寒河江駅
 - JRさくらんぼ東根駅

目標3 地域公共交通に従事可能な運転手数の確保（取り組み方針2に対応する目標）

本計画で定めた、地域公共交通ネットワークの形成の実現に必要な運転手数を、新たな移動手段の導入を踏まえ現状から3人増の18人と見積もり、目標値として設定しました。

なお、令和11年度末で施策評価値に到達していない場合は、町が最低限度の地域公共交通ネットワークの形成に必要な運転手数を確保する手法を検討・実施します。

指標：河北町の地域公共交通に従事可能な運転手数（単位：人）

年度 項目	現状値 (令和7年度)	施策評価値 (令和11年度末)	目標値 (令和12年度末)
河北町の地域公共交通 に従事可能な運転手数	15	18	18

※スクールバスの運行に必要な運転手数は、現状の運行便数での目標値となっています。統合小学校の整備に伴う検討が進み、スクールバスの便数が確定した時点で見直しが必要になります。

目標4 利用者1人当たり運行経費の基準額内への抑制（取り組み方針3に対応する目標）

河北町内の移動はタクシー利用で最大2,500円程度の運賃に収まることを踏まえ、地域公共交通の運行に係る利用者1人当たりの運行経費の基準額を2,500円と設定しました。

公共交通の運行の効率性を高め、町の負担額を抑制するために、運行方法やサービス内容の見直しを行います。

指標：利用者1人当たり運行経費

年度 路線・移動手段名	現状値 (令和6年度)	目標値 (令和12年度末)
町営バス 北部線	3,126円	2,500円以下
町営バス 西部線	1,629円	現行水準の維持
町営バス 南部線	2,074円	現行水準の維持
町営バス 東部線	6,324円	2,500円以下
町営バス 東根線	1,070円	現行水準の維持
べにのすけタクシー	1,111円	現行水準の維持
その他、新たな移動手段	—	2,500円以下

目標5 河北町モビリティトライアルの継続的な実施（取り組み方針3に関連する目標）

本計画で定めた基本理念及び基本方針の実現には、地域の積極的な協力・連携が不可欠です。

町内6地区及び町内観光施設や宿泊施設等において、取り組みが継続的に実施されることを目指します。

指標：河北町モビリティトライアルの実施件数（単位：件）

年度 項目	現状値 (令和6年 度末)	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	目標値 (令和12年 度末)
町内6地区	0	6	6	6	6	6
観光	0	1	1	1	1	1

※本指標のみアウトプット指標であるため、毎年度末の河北町地域公共交通活性化協議会において達成状況を確認します。

通学の実用に供する公共交通機関となるように、**最大滞在可能時間を増やし**、「通学しやすさ」の向上につなげます。

次ページからの「別表_目標1」と「別表_目標2」の読み方は次の通りとなります。

「別表_目標1」

「町内6地区ごとに設定した代表地点6か所」と「高校等最寄り代表地点4か所」との、提供可能な公共交通機関を利用した場合の『行き』での使いやすさ（最も早い時間に到着）、『帰り』での使いやすさ（最も遅い時間に出発）、最大滞在可能時間を町内6地区でまとめて一覧表にしたものです。

(1) 西里地区：西里地区センター（最寄りバス停：白山堂）の1行目、谷地高校前バス停（平日）（時間に①～⑥を付番）の読み方です。（1行がそれぞれの情報になります。）

現状 (R7)

「①08：00」：西里地区センター（最寄りバス停：白山堂）から町営バス西部線1便07：46に乗ると、08：00に谷地高校前バス停の最寄りバス停である河北中学校前に着きます。

（「西里地区センター → 谷地高校前バス停」で公共交通機関を利用して最も早く到着できる時間が08：00ということです。）

「②12：00」：谷地高校前バス停の最寄りバス停である河北中学校前から町営バス西部線3便12：00に乗ると、12：14に西里地区センター（最寄りバス停：白山堂）に着きます。

（「谷地高校前バス停 → 西里地区センター」で公共交通機関を利用して最も遅く出発できる時間が12：00ということです。）

「③約4時間」：谷地高校前バス停に08：00に到着して12：00に出発する場合は、谷地高校前バス停には最大で約4時間滞在可能になります。

目標 (R12)

「④06：30」：西里地区センター（最寄りバス停：白山堂）から新たな移動手段06：15に乗ると、06：30に谷地高校前バス停に着きます。

（「西里地区センター → 谷地高校前バス停」で新たな移動手段を利用して最も早く到着できる時間が06：30という目標設定にしています。）

「⑤21：30」：谷地高校前バス停から新たな移動手段21：30に乗ると、22：00に西里地区センター（最寄りバス停：白山堂）に着きます。

（「谷地高校前バス停 → 西里地区センター」で新たな移動手段を利用して最も遅く出発できる時間が21：30という目標設定にしています。）

「⑥約15時間」：谷地高校前バス停に06：30に到着して21：30に出発する場合は、谷地高校前バス停には最大で約15時間滞在可能になります。（約15時間という目標設定にしています。）

以下、**J R寒河江駅（平日）**も同様に考えていますが、J R寒河江駅の場合は「山交バス寒河江駅前⇄河北病院線」も追加で考慮して時間を算出しています。

以降のJ Rさくらんぼ東根駅は「町営バス東根線」と「東根市市民バス河北線」も追加で考慮し、J R山形駅は「J R左沢線」と「J R奥羽本線」をさらに追加で考慮しています。

また、「別表_目標2」は「谷地高校」と「河北町外の代表地点2か所」で同様に作成した表ですので、読み方も目標1と同様になります。

(1) 西里地区：西里地区センター（最寄バス停：白山堂） ※「バスに限らない、新たな移動手段を検討・実証・実装する」ことで目標（R12）の達成に努めます。

	始発便の最寄り代表地点・到着時刻		最終便の最寄り代表地点・出発時刻		最大滞在可能時間	
	現状 (R7)	目標 (R12)	現状 (R7)	目標 (R12)	現状 (R7)	目標 (R12)
谷地高校前バス停 (平日)	①08：00 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	④06：30頃	②12：00 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	⑤21：30頃	③約4時間	⑥約15時間
J R寒河江駅 (平日)	09：05	07：15頃	10：00	21：00頃	約1時間	約13.75時間
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・

別表_目標1：町内6地区から町内外高校等への「通学しやすさ」の向上に関する指標

町内6地区から提供可能な公共交通機関を利用して出かけた場合の「往路始発便の高校等最寄り代表地点・到着時刻」、「復路最終便の高校等最寄り代表地点・出発時刻」を、目標1の指標として下表にまとめました。

現状の時刻及び運行頻度は、令和7年4月現在の山交バス「寒河江～谷地」線、町営バス5路線、東根市市民バスのダイヤより抜粋したものです（谷地高校前バス停は町営バス5路線、JR寒河江駅は山交バス「寒河江～谷地」線、JRさくらんぼ東根駅は町営バス東根線と東根市市民バス河北線、交通結節点は「どんがホール」としています。）。また、目標の数値は本計画の施策による新たな移動手段を導入した場合を想定して設定しました。

※表中の「→」は「現状維持」を意味します。

(1) 西里地区：西里地区センター（最寄バス停：白山堂） ※「バスに限らない、新たな移動手段を検討・実証・実装する」ことで目標（R12）の達成に努めます。

高校等 最寄り 代表地点	現状と目標		始発便の最寄り代表地点・到着時刻		最終便の最寄り代表地点・出発時刻		最大滞在可能時間	
	現状 (R7)	目標 (R12)	現状 (R7)	目標 (R12)	現状 (R7)	目標 (R12)	現状 (R7)	目標 (R12)
谷地高校前バス停 (平日)	08:00 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	06:30頃	12:00 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	21:30頃	約4時間	約15時間		
JR寒河江駅 (平日)	09:05	07:15頃	10:00	21:00頃	約1時間	約13.75時間		
JRさくらんぼ東根駅 (平日)	09:35	08:00頃	09:40	19:45頃	0時間	約11.75時間		
JR山形駅 (平日)	10:51（寒河江経由）	08:00頃（寒河江経由）	09:19（寒河江経由）	20:30頃（寒河江経由）	0時間（寒河江経由）	約12.5時間（寒河江経由）		
	10:44（東根経由）	08:48（東根経由）	08:42（東根経由）	18:59（東根経由）	0時間（東根経由）	約10.25時間（東根経由）		
谷地高校前バス停 (土日祝日)	公共交通が無い	06:30頃	公共交通が無い	19:30頃	0時間	約13時間		
JR寒河江駅 (土日祝日)	公共交通が無い	07:30頃	公共交通が無い	18:15頃	0時間	約10.75時間		
JRさくらんぼ東根駅 (土日祝日)	公共交通が無い	07:45頃	公共交通が無い	18:30頃	0時間	約10.75時間		
JR山形駅 (土日祝日)	公共交通が無い（寒河江経由）	08:15頃（寒河江経由）	公共交通が無い（寒河江経由）	17:30頃（寒河江経由）	0時間（寒河江経由）	約9.25時間（寒河江経由）		
	公共交通が無い（東根経由）	08:32（東根経由）	公共交通が無い（東根経由）	16:22（東根経由）	0時間（東根経由）	約7.75時間（東根経由）		

(2) 溝延地区：溝延地区センター ※「バスに限らない、新たな移動手段を検討・実証・実装する」ことで目標（R12）の達成に努めます。

高校等 最寄り 代表地点	現状と目標		始発便の最寄り代表地点・到着時刻		最終便の最寄り代表地点・出発時刻		最大滞在可能時間	
	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）
谷地高校前バス停 （平日）	07：50 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	06：30 頃	13：19 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	21：30 頃	約 5.5 時間	約 15 時間		
J R 寒河江駅 （平日）	09：05	07：15 頃	12：30	21：00 頃	約 3.5 時間	約 13.75 時間		
J R さくらんぼ東根駅 （平日）	09：35	08：00 頃	09：40	19：45 頃	0 時間	約 11.75 時間		
J R 山形駅 （平日）	10：51（寒河江経由） 10：44（東根経由）	08：00 頃（寒河江経由） 08：48（東根経由）	11：55（寒河江経由） 08：42（東根経由）	20：30 頃（寒河江経由） 18：59（東根経由）	約 1 時間（寒河江経由） 0 時間（東根経由）	約 12.5 時間（寒河江経由） 約 10.25 時間（東根経由）		
谷地高校前バス停 （土日祝日）	公共交通が無い	06：30 頃	公共交通が無い	19：30 頃	0 時間	約 13 時間		
J R 寒河江駅 （土日祝日）	公共交通が無い	07：30 頃	公共交通が無い	18：15 頃	0 時間	約 10.75 時間		
J R さくらんぼ東根駅 （土日祝日）	公共交通が無い	07：45 頃	公共交通が無い	18：30 頃	0 時間	約 10.75 時間		
J R 山形駅 （土日祝日）	公共交通が無い（寒河江経由） 公共交通が無い（東根経由）	08：15 頃（寒河江経由） 08：32（東根経由）	公共交通が無い（寒河江経由） 公共交通が無い（東根経由）	17：30 頃（寒河江経由） 16：22（東根経由）	0 時間（寒河江経由） 0 時間（東根経由）	約 9.25 時間（寒河江経由） 約 7.75 時間（東根経由）		

(3) 北谷地地区：北谷地地区センター（最寄バス停：農協北谷地支所） ※「バスに限らない、新たな移動手段を検討・実証・実装する」ことで目標（R12）の達成に努めます。

高校等 最寄り 代表地点	現状と目標		始発便の最寄り代表地点・到着時刻		最終便の最寄り代表地点・出発時刻		最大滞在可能時間	
	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）
谷地高校前バス停 （平日）	07：25 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	06：30 頃	14：12 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	21：30 頃	約 6.75 時間	約 15 時間		
J R 寒河江駅 （平日）	07：50	07：15 頃	13：15	21：00 頃	約 6 時間	約 13.75 時間		
J R さくらんぼ東根駅 （平日）	08：04	08：00 頃	13：32	19：45 頃	約 5.5 時間	約 11.75 時間		
J R 山形駅 （平日）	08：46（寒河江経由） 08：48（東根経由）	08：00 頃（寒河江経由） 08：48（東根経由）	11：55（寒河江経由） 11：27（東根経由）	20：30 頃（寒河江経由） 18：59（東根経由）	約 3.25 時間（寒河江経由） 約 2.75 時間（東根経由）	約 12.5 時間（寒河江経由） 約 10.25 時間（東根経由）		
谷地高校前バス停 （土日祝日）	公共交通が無い	06：30 頃	公共交通が無い	19：30 頃	0 時間	約 13 時間		
J R 寒河江駅 （土日祝日）	公共交通が無い	07：30 頃	公共交通が無い	18：15 頃	0 時間	約 10.75 時間		
J R さくらんぼ東根駅 （土日祝日）	公共交通が無い	07：45 頃	公共交通が無い	18：30 頃	0 時間	約 10.75 時間		
J R 山形駅 （土日祝日）	公共交通が無い（寒河江経由） 公共交通が無い（東根経由）	08：15 頃（寒河江経由） 08：32（東根経由）	公共交通が無い（寒河江経由） 公共交通が無い（東根経由）	17：30 頃（寒河江経由） 16：22（東根経由）	0 時間（寒河江経由） 0 時間（東根経由）	約 9.25 時間（寒河江経由） 約 7.75 時間（東根経由）		

(4) 谷地西部地区：紅花資料館 ※「バスに限らない、新たな移動手段を検討・実証・実装する」ことで目標（R12）の達成に努めます。

高校等 最寄り 代表地点	現状と目標		始発便の最寄り代表地点・到着時刻		最終便の最寄り代表地点・出発時刻		最大滞在可能時間	
	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）
谷地高校前バス停 （平日）	08：00 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	06：30 頃	14：12 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	21：30 頃	約 6.25 時間	約 15 時間		
J R 寒河江駅 （平日）	09：05	07：15 頃	13：15	21：00 頃	約 4.25 時間	約 13.75 時間		
J R さくらんぼ東根駅 （平日）	09：35	08：00 頃	13：32	19：45 頃	約 4 時間	約 11.75 時間		
J R 山形駅 （平日）	10：51（寒河江経由） 10：44（東根経由）	08：00 頃（寒河江経由） 08：48（東根経由）	11：55（寒河江経由） 11：27（東根経由）	20：30 頃（寒河江経由） 18：59（東根経由）	約 1 時間（寒河江経由） 約 0.75 時間（東根経由）	約 12.5 時間（寒河江経由） 約 10.25 時間（東根経由）		
谷地高校前バス停 （土日祝日）	公共交通が無い	06：30 頃	公共交通が無い	19：30 頃	0 時間	約 13 時間		
J R 寒河江駅 （土日祝日）	公共交通が無い	07：30 頃	公共交通が無い	18：15 頃	0 時間	約 10.75 時間		
J R さくらんぼ東根駅 （土日祝日）	公共交通が無い	07：45 頃	公共交通が無い	18：30 頃	0 時間	約 10.75 時間		
J R 山形駅 （土日祝日）	公共交通が無い（寒河江経由） 公共交通が無い（東根経由）	08：15 頃（寒河江経由） 08：32（東根経由）	公共交通が無い（寒河江経由） 公共交通が無い（東根経由）	17：30 頃（寒河江経由） 16：22（東根経由）	0 時間（寒河江経由） 0 時間（東根経由）	約 9.25 時間（寒河江経由） 約 7.75 時間（東根経由）		

(5) 谷地東部線沿線地区：吉野公民館 ※「バスに限らない、新たな移動手段を検討・実証・実装する」ことで目標（R12）の達成に努めます。

高校等 最寄り 代表地点	現状と目標		始発便の最寄り代表地点・到着時刻		最終便の最寄り代表地点・出発時刻		最大滞在可能時間	
	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）
谷地高校前バス停 （平日）	07：50 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	06：30 頃	11：28 バス停が無い（最寄バス停： 河北中学校前）	21：30 頃	約 3.75 時間	約 15 時間		
J R 寒河江駅 （平日）	09：05	07：15 頃	10：00	21：00 頃	約 1 時間	約 13.75 時間		
J R さくらんぼ東根駅 （平日）	09：35	08：00 頃	09：40	19：45 頃	0 時間	約 11.75 時間		
J R 山形駅 （平日）	10：51（寒河江経由） 10：44（東根経由）	08：00 頃（寒河江経由） 08：48（東根経由）	09：19（寒河江経由） 08：42（東根経由）	20：30 頃（寒河江経由） 18：59（東根経由）	0 時間（寒河江経由） 0 時間（東根経由）	約 12.5 時間（寒河江経由） 約 10.25 時間（東根経由）		
谷地高校前バス停 （土日祝日）	公共交通が無い	06：30 頃	公共交通が無い	19：30 頃	0 時間	約 13 時間		
J R 寒河江駅 （土日祝日）	公共交通が無い	07：30 頃	公共交通が無い	18：15 頃	0 時間	約 10.75 時間		
J R さくらんぼ東根駅 （土日祝日）	公共交通が無い	07：45 頃	公共交通が無い	18：30 頃	0 時間	約 10.75 時間		
J R 山形駅 （土日祝日）	公共交通が無い（寒河江経由） 公共交通が無い（東根経由）	08：15 頃（寒河江経由） 08：32（東根経由）	公共交通が無い（寒河江経由） 公共交通が無い（東根経由）	17：30 頃（寒河江経由） 16：22（東根経由）	0 時間（寒河江経由） 0 時間（東根経由）	約 9.25 時間（寒河江経由） 約 7.75 時間（東根経由）		

(6) 谷地中央地区：どんがホール（徒歩圏内） ※「バスに限らない、新たな移動手段を検討・実証・実装する」ことで目標（R12）の達成に努めます。

高校等 最寄り 代表地点	現状と目標		始発便の最寄り代表地点・到着時刻		最終便の最寄り代表地点・出発時刻		最大滞在可能時間	
	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）	現状（R7）	目標（R12）
谷地高校前バス停 （平日）	同地区なので省略 （徒歩のみ）	同地区なので省略 （予約に応じて）	同地区なので省略 （徒歩のみ）	同地区なので省略 （予約に応じて）	同地区なので省略 （徒歩のみ）	同地区なので省略 （予約に応じて）	同地区なので省略	同地区なので省略
J R寒河江駅 （平日）	06：38	→	19：20	21：00 頃	約 12.75 時間	約 14.5 時間		
J Rさくらんぼ東根駅 （平日）	06：20	→	19：40	→	約 13.5 時間	→		
J R山形駅 （平日）	07：28（寒河江経由） 06：56（東根経由）	→ →	18：34（寒河江経由） 18：59（東根経由）	20：30 頃（寒河江経由） →（東根経由）	約 11 時間（寒河江経由） 約 12 時間（東根経由）	約 13 時間（寒河江経由） →（東根経由）		
谷地高校前バス停 （土日祝日）	同地区なので省略 （徒歩のみ）	同地区なので省略 （予約に応じて）	同地区なので省略 （徒歩のみ）	同地区なので省略 （予約に応じて）	同地区なので省略	同地区なので省略		
J R寒河江駅 （土日祝日）	公共交通が無い	07：30 頃	公共交通が無い	18：15 頃	0 時間	約 10.75 時間		
J Rさくらんぼ東根駅 （土日祝日）	07：39	→	18：25	→	約 10.75 時間	→		
J R山形駅 （土日祝日）	公共交通が無い（寒河江経由） 08：32（東根経由）	08：15 頃 →	公共交通が無い（寒河江経由） 16：22（東根経由）	17：30 頃 →	0 時間（寒河江経由） 約 7.75 時間（東根経由）	約 9.25 時間（寒河江経由） →		

別表_目標 2：河北町外から谷地高校への「通学しやすさ」の向上に関する指標

河北町外から提供可能な公共交通機関を利用して谷地高校へ通学した場合の「往路始発便の谷地高校到着時刻」、「復路最終便の谷地高校出発時刻」、「谷地高校での最大滞在可能時間」を、目標 2 の指標として下表にまとめました。

現状の時刻及び運行頻度は、令和 7 年 4 月現在の山交バス「寒河江～谷地」線、町営バス路線、東根市市民バスのダイヤより抜粋したものです（J R 寒河江駅は山交バス「寒河江～谷地」線（バス停は谷地高校前）、J R さくらんぼ東根駅は町営バス東根線と東根市市民バス河北線としています。）。また、目標の数値は本計画の施策による新たな移動手段を導入した場合を想定して設定しました。

※表中の「→」は「現状維持」を意味します。

谷地高校 ※「バスに限らない、新たな移動手段を検討・実証・実装する」ことで目標（R12）の達成に努めます。

河北町外 の代表地点	現状と目標		始発便の最寄り代表地点・到着時刻		最終便の最寄り代表地点・出発時刻		最大滞在可能時間	
	現状 (R7)	目標 (R12)	現状 (R7)	目標 (R12)	現状 (R7)	目標 (R12)	現状 (R7)	目標 (R12)
J R 寒河江駅 (平日)	07:59 ①	→	18:44 ②	20:30 頃 ③	約 10.75 時間	約 12.5 時間		
J R さくらんぼ東根駅 (平日)	07:00 ④ バス停が無い（最寄バス 停：河北中学校前）	→	19:07 ⑤ バス停が無い（最寄バス 停：どんがホール）	→	約 12 時間	→		
J R 寒河江駅 (土日祝日)	公共交通が無い	08:15 頃 ⑥	公共交通が無い	17:15 頃 ⑦	0 時間	約 9 時間 00 分		
J R さくらんぼ東根駅 (土日祝日)	08:20 ⑧ バス停が無い（最寄バス 停：河北中学校前）	→	17:48 ⑨ バス停が無い（最寄バス 停：どんがホール）	→	約 9.5 時間	→		

参考（山形市との乗り継ぎ）

○平日

①（現状）山形市からどの様に乗り継ぐのか： J R 山形駅 07:02→J R 寒河江駅 07:35→山交バス寒河江駅 07:45→山交バス谷地高校前 07:59

②（現状）山形市までどの様に乗り継ぐのか： 山交バス谷地高校前 18:44→山交バス寒河江駅 19:00→J R 寒河江駅 19:39→J R 山形駅 20:06

③（目標）山形市までどの様に乗り継ぐのか： 新たな移動手段谷地高校前 20:30 頃→新たな移動手段寒河江駅 20:45 頃→J R 寒河江駅 20:57→J R 山形駅 21:23

④（現状）山形市からどの様に乗り継ぐのか： J R 山形駅 05:53→J R さくらんぼ東根駅 06:26→町営バスさくらんぼ東根駅 06:30→町営バス河北中学校前 07:00

⑤（現状）山形市までどの様に乗り継ぐのか： 町営バスどんがホール 19:07→町営バスさくらんぼ東根駅 19:35→J R さくらんぼ東根駅 19:56→J R 山形駅 20:27

○土日祝日

⑥（目標）山形市からどの様に乗り継ぐのか： J R 山形駅 07:02→J R 寒河江駅 07:35→新たな移動手段寒河江駅 07:45 頃→新たな移動手段谷地高校前 08:15 頃

⑦（目標）山形市までどの様に乗り継ぐのか： 新たな移動手段谷地高校前 17:15 頃→新たな移動手段寒河江駅 17:45 頃→J R 寒河江駅 18:34→J R 山形駅 19:01

⑧（現状）山形市からどの様に乗り継ぐのか： J R 山形駅 05:53→J R さくらんぼ東根駅 06:26→町営バスさくらんぼ東根駅 07:49→町営バス河北中学校前 08:20

⑨（現状）山形市までどの様に乗り継ぐのか： 町営バスどんがホール 17:48→町営バスさくらんぼ東根駅 18:20→J R さくらんぼ東根駅 18:40→J R 山形駅 19:23

第4章 目標を達成するために行う施策

4-1 谷地高校生と町内在住高校生の通学手段確保（取り組み方針1）

施策1 休日に河北町と寒河江市とを結ぶ新たな移動手段を導入します

（基本方針1、2と目標1、2に対応）

- 山交バスの路線バスが運行されていない休日に、河北町から寒河江市内の高校（JR左沢線に乗り継いで山形市内の高校）への通学、河北町外から谷地高校への通学及び町民が寒河江市や山形市へ移動ができるよう、新たな移動手段を導入します。
- 町内周辺各地区の住民は高齢者向けの「べにのすけタクシー」及び若年層向けの「べにのすけタクシー ジュニア（仮称）」（→施策3）からの乗り継ぎ利用を基本とします。ただし、早朝や夜間などの一部時間帯においては新たな移動手段が町内周辺各地区へ直通運行することも考えられるため、「河北町モビリティトライアル」のもとで運行方法や時間・経路等について地域との連携・協力を得ながら具体化します。
- 町営バス東根線やJR各線の運行時間とも調整し、河北町と山形市内との移動を最適化します。
- 新たな移動手段導入後も、河北町、寒河江市、交通事業者、学校、保護者等の地域の関係者による協議体において、特に高校生の利用について毎月利用状況を確認・共有するとともに、運行方法や時間・経路等の改善や利用促進策の検討・実施を行います。町民の利用状況については、「河北町モビリティトライアル」のもと町内6地区で展開される取り組みの中で確認・共有し、改善や利用促進策の検討・実施を行います。

<実施主体>

河北町地域公共交通活性化協議会、河北町（くらし応援課、学校教育課）、寒河江市、東根市、谷地高校、寒河江市内各高校、地域住民、交通事業者

<実施スケジュール>

令和8年度 前期：協議体の組織、運行方法や時間・経路等の検討・確定、運行に係る申請

後期：運行開始（遅くとも冬期前に）、協議体による利用状況確認・共有、必要に応じて改善や利用促進策の検討・実施

令和9年度以降：協議体による利用状況確認・共有、必要に応じて改善や利用促進策の検討・実施

新たな移動手段・・・バス等の既存の公共交通機関に限らず、様々な移動手段を検討・実証・実装していくことで、現状に合った移動手段を実現していきます。

施策2 平日の交通空白時間帯における河北町内と寒河江市とを結ぶ新たな移動手段を導入します (基本方針1、2と目標1、2に対応)

- 山交バスの路線バスが運行されていない夜間や山交バス等との接続が困難な平日早朝に、河北町内から寒河江市内の高校（JR左沢線に乗り継いで山形市内の高校）への通学、河北町外から谷地高校への通学、及び町民が寒河江市や山形市へ移動ができるよう、新たな移動手段を導入します。
- 町内周辺各地区への直通運行や、高齢者向けの「べにのすけタクシー」及び若年層向けの「べにのすけタクシー ジュニア（仮称）」（→施策3）等からの乗り継ぎ利用を組み合わせ、町内周辺各地区の住民が利用できるようにします。
- 新たな移動手段導入後も、河北町、交通事業者、学校、保護者等の地域の関係者による協議体において、特に高校生の利用について毎月利用状況を確認・共有するとともに、運行方法や時間・経路等の改善や利用促進策の検討・実施を行います。町民の利用状況については、「河北町モビリティトライアル」のもと町内6地区で展開される取り組みの中で確認・共有し、改善や利用促進策の検討・実施します。

<実施主体>

河北町地域公共交通活性化協議会、河北町（くらし応援課、学校教育課）、寒河江市、谷地高校、寒河江市内各高校、地域住民、交通事業者

<実施スケジュール>

令和8年度：平日夜間の運行方法や時間・経路等の検討、関係者との協議、運行に必要な運転手の確保、運行に係る申請

令和9年度：夜間時間帯における運行開始、協議体による利用状況確認・共有、必要に応じて改善や利用促進策の検討・実施、運行に必要な運転手の確保継続

令和9年度以降：平日早朝の運行方法や時間・経路等の検討、関係者との協議、運行に必要な運転手の確保、運行に係る申請

令和10年度以降：運行に必要な運転手が確保でき次第、早朝時間帯における運行開始

施策3 「べにのすけタクシー ジュニア（仮称）」を新たに運行します（基本方針1と目標1に対応）

- 寒河江市方面への新しい公共交通（→施策1、施策2）及び町営バス東根線、山交バスの路線バス、イオンモール天童シャトルバスと接続するために、就学実態のある大学生までを対象とした若年層向けの「べにのすけタクシー ジュニア（仮称）」を導入します。

<実施主体>

河北町地域公共交通活性化協議会、河北町（くらし応援課）、交通事業者

<実施スケジュール>

令和8年度：運用方法の検討・確定、運行開始、必要に応じて改善や利用促進策の検討・実施

令和9年度以降：必要に応じて改善や利用促進策の検討・実施、
運転手数が確保できれば利用用途の制限緩和を検討・実施

4-2 通院等の生活を支える移動手段に必要な運転手確保・運行体制強化 (取り組み方針 2)

施策 4 地域公共交通の運行に必要な運転手を確保し、運行体制を強化します

(基本方針 1、2、3 と目標 3 に対応)

- 地域公共交通の運行に必要な運転手を確保する取り組みを、町が交通事業者等と連携して進めます。
- 以下の施策メニューで取り組み可能なものから随時実施します。
 - スクールバス等の 2 種免許が不要な移動手段については、1 種免許保有運転手も運転するようになります。
 - 現在の体制では運転手不足により望ましい地域公共交通ネットワークが形成できないという事実の周知及び 1 種 2 種を問わず運転手募集の周知に、河北町、交通事業者、地域が一体となって取り組みます。
- 河北町の地域公共交通に必要な運転手を確保する手法（運転手の給与水準の引き上げ施策を含む）の検討・準備を令和 9 年度までに行い、施策評価及び新たな運転手確保施策の実施を令和 10 年度～令和 12 年度に行います。
- 令和 11 年度末に施策評価を行い、施策評価値に到達していない場合は、町が最低限度の地域公共交通ネットワークの形成に必要な運転手数を確保する手法を検討・実施します。

<実施主体>

河北町地域公共交通活性化協議会、河北町（くらし応援課、学校教育課、健康福祉課）、交通事業者、地域住民、協力事業者（協力団体）

<実施スケジュール>

- 令和 8 年度：既存スクールバス・スクールタクシーに対する 1 種免許保有運転手導入への方策の協議・関係者調整
町が地域公共交通ネットワークの形成に最低限必要な運転手を確保する手法（運転手の給与水準の引き上げ施策を含む）の検討・準備（令和 9 年度まで）
運転手不足の事実周知・運転手募集の周知（令和 11 年度末まで随時実施）
運転手確保のためのアイデア提案、協力可能な人員の提案・提供（令和 11 年度末まで随時実施）
- 令和 9 年度：既存スクールバス・スクールタクシーに対する 1 種免許保有運転手の導入
開校準備委員会（仮称）を設置し、統合小学校が開校する令和 13 年度以降のスクールバス運行に必要な運転手数等の検討・準備
- 令和 10 年度～令和 12 年度：施策評価及び新たな運転手確保施策の実施
- 令和 11 年度：施策評価の実施、令和 12 年度の実施内容の判断

施策5 町営バスや「べにのすけタクシー」等の利用状況に関するデータを取得及び活用します
(基本方針1、2、3と目標4に対応)

- 町営バスの、便別・バス停ごとの乗車人数・降車人数等の利用状況に関するデータを取得及び活用します。
- 高齢者向けの「べにのすけタクシー」及び若年層向けの「べにのすけタクシー ジュニア（仮称）」の乗車場所、降車場所、利用件数等の利用状況に関するデータを取得及び活用します。

<実施主体>

河北町（くらし応援課）、交通事業者

<実施スケジュール>

令和8年度から随時実施

4-3 地区毎の生活交通へのニーズと来訪者の二次交通へのニーズに対応できるモビリティトライアル（取り組み方針3）

施策6 「べにのすけタクシー」を休日にも運行します（基本方針2と目標4、5に対応）

- 現在運行している高齢者向けの「べにのすけタクシー」を休日にも運行します。
- 「河北町モビリティトライアル」のもとで休日利用の周知や活用策を、地域との連携・協力を得ながら実施します。

<実施主体>

河北町地域公共交通活性化協議会、河北町（くらし応援課）、交通事業者、地域住民

<実施スケジュール>

令和8年度から随時実施

施策7 町営バス、スクールバスの運行時間及び運行経路等の一体的な見直しを行います
(基本方針1、2、3と目標1、2、4、5に対応)

- 利用の少ない路線・便について、運行時間を見直し・改善します。
- 運行時間や経路が重複している町営バスとスクールバスを統合し、スクールバスの混乗へと運行形態を変更することで、運行効率向上を図ります。
- 「河北町モビリティトライアル」のもと、地域との連携・協力を得ながら町営バスの運行時間や経路を、現状の体制でできる中で見直し・改善していきます。

<実施主体>

河北町地域公共交通活性化協議会、河北町（くらし応援課・学校教育課）、地域住民、交通事業者

<実施スケジュール>

令和8年度から逐次実施

**施策 8 町内 6 地区ごとに地域公共交通の利用促進・改善、新たな移動手段導入の取り組みを進めます
(基本方針 2 と目標 4、5 に対応)**

- 地区での話し合い（住民懇談会）を継続していきます。
- 「河北町モビリティトライアル」のもと、町内 6 地区それぞれの状況やできる範囲を踏まえながら、地域公共交通の利用促進や改善、新たな移動手段導入の取り組みを進めていきます。
- 町内 6 地区の取り組みの方向性

地区	取り組みの方向性
西里地区	○公共交通の周知に協力。 具体的には、地区での話し合い（住民懇談会）を住民が主体的に公共交通について考える場として継続し、公共交通の便利さや課題を知るために実際に公共交通を利用する「体験会」を行って、公共交通への理解を深めることから始めていく。
溝延地区	○公共交通の周知に協力。 具体的には、地区での話し合い（住民懇談会）の場や、行政等と協力した実態調査や情報の提供を通して、住民の意識を高めることから始めていく。
北谷地地区	○より良い移動手段を行政等と一緒に検討。 具体的には、地区での話し合い（住民懇談会）を継続して、町営バスの改善（時刻表修正）を検討し、時刻表修正が困難なようであれば、町営バスを補うような新たな移動手段（助け合い交通）の試行に向けて検討を進めていく。
谷地西部地区	○公共交通の周知に協力。 具体的には、公共交通の利用方法等の周知を起点として、住民から利用に関する相談を受けたり、予約等のサポートを行ったりすることができる、地域の身近なアドバイザー・サポーターの体制構築を目指していく。また、行政と連携して伝える場（講座、勉強会、乗り方教室など）を実施していくことで公共交通を周知していく。
谷地東部線沿線地区	○より良い移動手段を行政等と一緒に検討。 具体的には、地区での話し合い（住民懇談会）を継続して、町営バス・スクールバス等の見直しを行う。見直し後は新たな移動手段の周知を行政等と協力して行っていく。
谷地中央地区	○公共交通の周知に協力。 具体的には、地区での話し合い（住民懇談会）を継続していくとともに、公共交通を利用・体験する企画を検討・実施していく。

<実施主体>

地域住民、河北町地域公共交通活性化協議会、河北町（くらし応援課）、交通事業者

<実施スケジュール>

令和 8 年度から随時実施

施策 9 滞在型観光を可能とする町内周遊を目的とした移動手段の実証・実装に取り組みます
(基本方針 3 と目標 5 に対応)

- 観光客の町内周遊及び広域周遊を支える移動手段の実装にあたって、「河北町モビリティトライアル」の方針のもとで町内観光施設や宿泊施設等の協力・連携体制構築を図ります。

<実施主体>

河北町(くらし応援課、商工観光課)、観光施設・宿泊施設関係者、河北町地域公共交通活性化協議会、交通事業者、地域住民

<実施スケジュール>

令和 8 年度：河北町が地域再生計画等に基づいて観光交通の検討・実証運行を行う。

令和 9 年度：河北町と地域再生計画等に基づいた滞在型観光の企画調整を担う事業者又は団体が、実証運行に基づいて実装に向けた検討を行う。

4-4 施策ごとの実施スケジュール

番号	施策名		実施年度				
			R8	R9	R10	R11	R12
1	休日に河北町と寒河江市とを結ぶ新たな移動手段の導入						
2	平日の交通空白時間帯における河北町内と寒河江市とを結ぶ新たな移動手段の導入	夜間					
		早朝					
3	「べにのすけタクシー ジュニア (仮称)」の導入	休日					
		平日 (日中・夜間)					
		平日 (早朝)					
4	地域公共交通の運行に必要な運転手の確保・運行体制強化						
5	町営バスや「べにのすけタクシー」等の利用状況に関するデータの取得及び活用						
6	「べにのすけタクシー」の休日運行						
7	町営バス、スクールバスの運行時間及び運行経路等の一体的な見直し						
8	町内6地区ごとに地域公共交通の利用促進・改善、新たな移動手段導入の取り組み						
9	滞在型観光を可能とする町内周遊を目的とした移動手段の実証・実装						



運行方法等の検討・決定、運行に係る申請



実証運行、利用状況に関するデータの取得・検証 (実装に向けた検討)



必要な運転手を確保しだい実証運行、利用状況に関するデータの取得・検証 (実装に向けた検討)

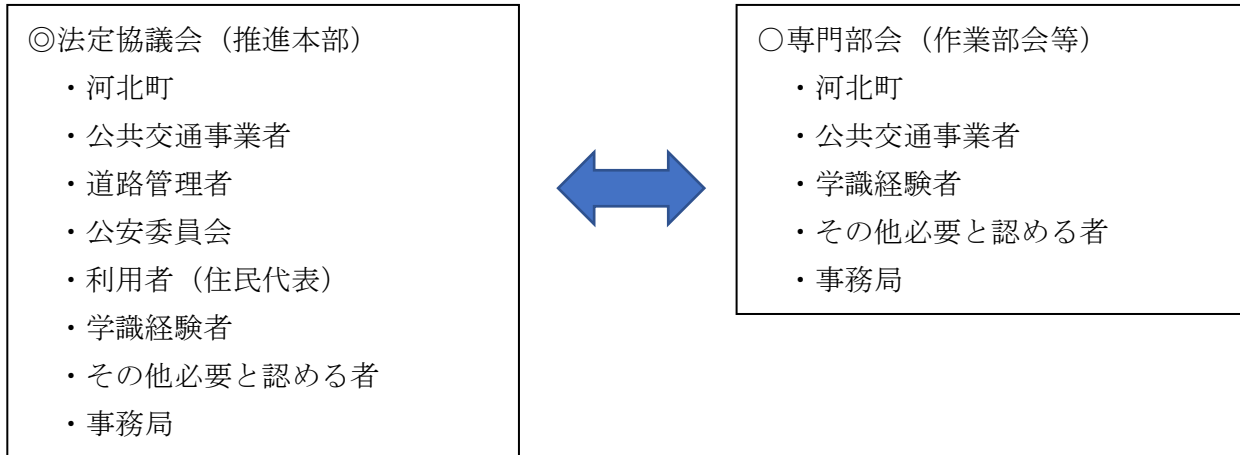


施策の実施

第5章 計画の推進（進行管理・評価・見直し）

5-1 実行体制

本計画の実行及び進行管理・評価・見直しは、「河北町地域公共交通活性化協議会」が行います。（本計画の実行に際し、必要な各種作業が生じた場合は専門部会が実務を遂行します。）



構成団体	職名
河北町	町長
山交バス株式会社寒河江営業所	所長
一般社団法人山形県バス協会	会長
一般社団法人山形県ハイヤー協会	会長
山形県交通運輸産業労働組合協議会	副議長
（株）葉山タクシー	代表取締役社長
村山総合支庁建設部道路課西村山道路計画課（県道管理者）	課長
河北町都市整備課（町道管理者）	課長
寒河江警察署交通課	課長
河北町区長会	会長
西里、溝延、北谷地、谷地地区の区長又は指名する者	区長
弘前大学	客員研究員
国土交通省東北運輸局山形運輸支局	首席運輸企画専門官
村山総合支庁総務企画部西村山総務課連携支援室	課長
山形県立谷地高等学校	校長
河北町立小中学校校長会	会長
河北町社会福祉協議会	会長
東根市市民生活部生活環境課	課長
寒河江市企画戦略課	課長
河北町健康福祉課	課長
河北町学校教育課	課長
河北町暮らし応援課（事務局）	

5-2 進行管理・評価・見直し

本計画の進行管理・評価・見直しについては、河北町地域公共交通活性化協議会が主体となり実施します。本計画で定めたスケジュールに基づいて「目標を達成するために行う施策」の進捗状況を確認することで進行管理を行い、各指標によって「目標」の到達状況の評価することで本計画の施策内容の見直しを適宜行います。

「目標を達成するために行う施策」の進捗状況は、河北町地域公共交通活性化協議会において毎年度確認することを基本とします。

「目標」の到達状況も同様に、河北町地域公共交通活性化協議会において毎年度確認することを基本とし、その到達状況は河北町地域公共交通活性化協議会において協議・評価したうえで、施策内容の見直しに適宜反映していきます。

計画期間の4年目（令和11年度）に3年間の実績を振り返り、計画全体の評価を行うとともに、令和12年度に計画を見直して、次期計画（令和13年度～令和17年度）に改定します。

年度ごとの実施内容

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施事項												
施策の実施	→											
前年度施策の検証	→		↓									
当年度施策の観測・検証	→		↓	→			↓	→				
次年度以降の施策の検討	→		↓	→			↓	→				
次年度の施策の調整							→	→				
活性化協議会開催			●				●				●	
庁内関連				●	財政計画要求			●	次年度予算要求			

計画の推進方法

項目	年度	本計画の計画期間					次期計画
		R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
施策実施		→	→	→	→	→	→
当年度モニタリング ・前年度検証		→	→	→	→	→	→
施策の検討・改善			必要に応じて改善 →	→	→	→	
計画全体の見直し				中間見直し →	評価	→	改定

SDGs（持続可能な開発目標）は、世界のさまざまな問題を根本的に解決し、すべての人たちに
とってより良い世界をつくるために設定された、世界共通の17の目標です。



河北町地域公共交通計画

発行日 令和8年3月27日

作成 河北町地域公共交通活性化協議会

問い合わせ先 河北町暮らし応援課

〒999-3511

河北町谷地戊 81

電話 0237-73-2111

アドレス <https://www.town.kahoku.yamagata.jp/>